

第1章

復旧・復興トピックス

1. 震災発生から平成27年度までの宮城県・土木部5年間の歩み

平成23年度 — 1年目 —

上半期のトピックス		下半期のトピックス	
	3月11日：東北地方太平洋沖地震が発生	10月	10月1日：仙台空港アクセス鉄道全線運行再開
4月	4月28日：塩竈市で仮設住宅への入居を開始		10月18日：「宮城県震災復興計画」県議会承認
5月	5月2日：第1回宮城県震災復興会議		10月18日：新北上大橋および定川大橋の仮橋を供用開始
	5月10日 ～24年1月23日：災害査定 (全29次5,908件)		10月24日：応急仮設住宅の寒さ対策追加工事に着手
	5月10日 ～24年3月13日：被災建築物応急危険度判定(全50,721件)	11月	11月4日：応急仮設住宅が全戸完成(15市町, 22,042戸)
	5月19日 ～24年3月13日：被災宅地危険度判定(全3,996件)		11月24日：みやぎ県北高速幹線道路第1期区間全線供用開始
6月	6月1日：地方自治法派遣職員の辞令交付式	12月	12月21日：「宮城県復興住宅計画」策定・公表
	6月3日：第2回宮城県震災復興会議		12月30日：県内全避難所が閉鎖
7月	7月13日：第3回宮城県震災復興会議	1月	1月27日：大島架橋事業着手式
	7月16, 18日：「宮城県震災復興計画(案)」県民説明会	2月	1月31日：第1回復興交付金事業計画提出
	7月25日：仙台空港の国内定期便・国際臨時便が運行再開	3月	3月3日：大曲海岸災害復旧工事の堤防復旧に着手
8月	8月22日：第4回宮城県震災復興会議		3月9日：3.11伝承・減災プロジェクト着手県内の公共施設に設置開始
	8月26日：宮城県震災復興計画(案)を公表		3月11日：東日本大震災 犠牲者追悼式
	8月30日：復興道路となる三陸沿岸道路の全ルートが決定		3月21日：「宮城県社会資本・再生復興計画緊急アクションプラン」を策定・公表
9月	9月9日：宮城県沿岸における海岸堤防高さの設定について公表		3月23日：集団移転促進事業が全国初で決定し、石巻市・岩沼市で復興整備協議会を開催
	9月20日：台風15号により記録的豪雨が発生		3月24日：災害廃棄物処理の焼却炉で県内発の火入れ
	9月25日：仙台空港ターミナルビル完全復旧		3月28日：「宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画」を策定・公表
	9月26日：石巻・気仙沼合同庁舎が移転		

平成24年度 —2年目「見える復興・見せる復興」—

上半期のトピックス

下半期のトピックス

4月 4月6日：三陸沿岸道路 仙塩道路四車線化着工式



4月25日：仙塩浄化センター下水処理開始式

5月 5月31日：国道113号館矢間バイパス開通



6月 6月4日：石巻港災害復旧工事着工式

6月7日：菖蒲田海岸災害復旧工事着工式



7月 7月12日：仙台松島道路四車線化



8月 8月8日：春日パーキングエリア完成式



9月 9月8日：三陸沿岸道路石巻北インターチェンジ着工式

9月18日：石巻東部浄化センター下水処理開始式

9月29日：女川町復興まちづくり着工式



10月 10月17日：定川河川災害復旧工事着工式

10月17日：女川湾口防波堤着工式

11月 11月4日：石巻市新蛇田地区被災市街地復興土地区画整理事業 安全祈願祭・起工式

12月 12月1日：仙台東部道路仙台港 IC 供用開始



1月 1月23日：大島架橋事業着工式

2月 2月14日：南三陸町災害公営住宅整備事業着工式



2月26日：「南三陸町防災集団移転促進事業」着工式



3月 3月22日：県南浄化センター下水道災害復旧完工式



3月23日：二線堤・国道346号鹿島台バイパス開通式



平成25年度 — 3年目 「復興実感・復興加速」 —

上半期のトピックス

下半期のトピックス

4月	4月1日：「みやぎ鎮魂の日を定める条例」施行	10月	10月9日：建設発生土利用に係る自治体間協定締結
	4月1日：県内初の災害公営住宅入居開始		10月10日：国道398号宮前工区が開通
	4月18日：大規模災害時における橋りょうの応急対策業務の応援に関する協定締結		10月16日：災害時における民間賃貸住宅の提供等に関する協定を締結
5月	5月18日：払川ダム竣工式を開催		10月28日：下増田地区防災集団移転促進事業起工
	5月21日：第3回復興道路会議	11月	11月8日：塩竈市港町地区の一団地の津波防災拠点市街地形成施設事業認可書交付式
	5月21日：貞山運河再生・復興ビジョンを策定	12月	12月20日：県営住宅の災害復旧工事が全て完了
	5月22日：女川湾港防波堤復旧工事着工		12月20日：「3.11 伝承・減災プロジェクト」伝承サポーター募集開始
			
6月	6月21日：仙台南部道路引継式を開催		12月22日：仙台北部道路全線開通富谷IC開通式
7月	7月31日：大衡仙台線 小野工区開通式を開催	1月	1月16日：大河原土木事務所管内災害復旧工事完了
			1月18日：多重防御かさ上げ道路整備事業が着工
8月	8月23日：東松島市に県内初の大規模太陽光発電所（メガソーラー）が完成		1月18日：災害廃棄物県内焼却処理の終了
	8月19日～9月6日：自治法派遣職員の継続要請及び震災からの現状報告を実施		1月30日：亘理町防災集団移転促進事業「上塚団地」が完成
	8月29日：栗原地域事務所管内災害復旧完了	2月	2月1日：塩竈市伊保石地区（第1期）災害公営住宅入居開始
9月	9月1日：水産業復興特区を活用した新たな漁業がスタート		2月7日：宮城県土木部発足80周年記念フォーラム開催
	9月27日：慶長使節船ミュージアム本復旧完了		2月8日：石巻市新蛇田（B・C-1・C-2 街区）地区災害公営住宅着工
		3月	3月21日：岩沼海浜緑地公園で桜植樹祭
			3月26日：流域下水道災害復旧事業が全て完了

平成26年度 —4年目「復興実感年」—

上半期のトピックス

下半期のトピックス

4月	4月25日：仙台空港民営化実施決定 4月27日：岩沼市 防災集団移転促進事業「玉浦西地区第3期宅地引渡し式」開催 4月30日：東日本大震災による県管理道路の通行止めすべて解除	10月	10月7日：「宮城県復興住宅計画」を改定 10月21日：東舞根復興道路「舞根トンネル」貫通式
5月	5月16日：第4回復興道路会議開催 5月31日：長沼ダム竣工式 	11月	11月10日：仙台港背後地土地区画整理事業竣工式  11月13日：(主)中田栗駒線 福岡工区 開通 11月15日：大島架橋本体工事 着工式
6月	6月13日：新北上大橋災害復旧工事 安全祈願祭開催	12月	12月6日：常磐自動車道 県内区間全線 開通
7月	7月16日：生コン仮設プラントからの出荷開始（気仙沼市本吉地区・石巻牡鹿地区）  7月23日：名取市下増田地区災害公営住宅起工式を開催	1月	1月28日：災害時の石油製品の備蓄に関する協定書等の交換式を開催
8月	8月19日：貞山運が再生復興会議を開催	2月	2月2日：東日本大震災における災害廃棄物処理シンポジウム開催 2月12日：(都)門脇流留線（魚町）道路改築工事安全祈願祭を開催 
9月	9月3日：県民の森中央記念館 木質化等改修工事完了  9月27日：第4回復興加速化会議を開催	3月	3月1日：常磐自動車道 全線開通 3月17日：桜植樹における技術支援に関する協定締結 3月21日：多賀城緩衝緑地公園で桜植樹祭開催  3月26日：復興支援道路 みやぎ県北高速幹線道路着工式

平成27年度 —5年目「復興加速実感年」—

上半期のトピックス

下半期のトピックス

4月	4月13日：蔵王山火口周辺警報が発令 4月24日：(主) 河北桃生線バイパス 供用開始	10月	10月4日：石巻女川インターチェンジ開通 10月4日：名取市「美田園北まちびらき」 10月30日：蔵王レストハウスのサイレン が完成
5月	5月30日：JR仙石線 全線運行開始 5月30日：常磐自動車道「鳥の海スマート IC」着工式 	11月	11月3日：「石巻市被災市街地復興土地 画整理事業まちびらき」開催 11月5日：東侍浜海岸災害復旧工事の 竣工式
6月	6月4日：第5回復興道路会議の開催 6月6日：川内沢川放水路竣工式 6月18日：蔵王山噴火対策砂防計画検討会	12月	12月1日：(主) 泉塩釜線南宮地区を 四車線化 12月6日：仙台市地下鉄東西線が開業 12月15～17日：舞根トンネル銘板に 寄せ書き 12月19日：第6回復興加速化会議開催 12月23日～：「女川駅前商業エリア」 開業、「おながわ復興まち びらき」開催
7月	7月19日：岩沼市玉浦西まち開き開催  7月23日：みやぎ県北高速幹線道路Ⅳ期区 間（築館工区）安全祈願祭	1月	1月21日：荒谷前地区海岸災害復旧工事の 竣工 1月30日：常磐自動車道「山元南スマート IC」着工式
8月	8月21日：海岸保全計画の変更 8月27日：第2回貞山運河再生復興幹部会 議開催	2月	2月1日：仙台空港の一部民営化開始 2月19日：雄勝港「浪板防潮堤」完成
9月	9月1日：石巻魚市場が運用開始  9月17日：七ヶ浜町菫蒲田浜地区災害公営 住宅が完成 	3月	3月12日：(主) 古川松山線「志田橋」 供用開始 3月19日：多賀城市貞山公園で「桜」植樹 祭を開催 3月24日：東舞根復興道路の供用開始 3月25日：女川湾口防波堤が完成 

2. 国・宮城県・土木部の5年目の歩み

平成27年4月

国・宮城県全体のトピックス

1日：任期付職員と新規採用職員の辞令交付式
 復旧・復興業務に携わる任期付職員の辞令交付式が、県庁1階みやぎ広報室にて行われました。4月の採用人数は合計66名で、復興事業で職員不足が顕著になっている土木や建築、用地補償事務などの業務を県の機関や被災市町で行うこととなっています。また、同日、新規採用職員の辞令交付式も県庁2階講堂で行われました。

6日：アジアナ航空「仙台-ソウル線」就航25周年セレモニー開催

就航25周年を記念して、仙台空港でセレモニーを開催し、関係者によるテープカットや韓国民族舞踊の披露などを行いました。



12日：復興大臣との意見交換

集中復興期間後の復興財源の枠組みについて、竹下復興大臣と村井知事及び沿岸被災市町の15首長が意見交換を行いました。

13日：蔵王山火口周辺警報が発令

仙台管区气象台から蔵王山の火口周辺警報が発令され、火口から概ね1.2kmの範囲が立入規制となりました。澄川スキー場入口から蔵王山山頂につづく蔵王エコラインは、想定火口域から約2kmの澄川ゲート（スキー場入口付近）で、通行止めとなりました。



24日：復興推進会議の開催

平成28年度以降の復旧・復興事業のあり方について協議が行われました。これにより、復興の基幹の事業や原子力事故に由来する事業の特例措置は継続となりましたが、それ以外の事業については一部負担及び一般会計での事業実施となりました。

土木部のトピックス

1日：辞令伝達式を開催
 新規採用職員40名、自治法派遣職員111名及び任期付職3名が土木部に配属となり、遠藤部長による辞令伝達が行われました。



15日：岩手・宮城・福島被災3県土木部長要望

国土交通省、復興庁、県選出国会議員に対して「集中復興期間の延長及び特例的な財政支援の継続を求める要望」及び「国が行う復旧・復興事業の整備促進と全面的な財政支援の継続を求める要望」を行いました。



16日～17日：自治法派遣職員研修を開催

自治法派遣職員99名を対象として、宮城県の被災状況、復興状況等の現状や工事積算・監督・検査など宮城県での実務に関する研修を開催しました。



24日：(主)河北桃生線バイパスの供用開始

(主)河北桃生線と(主)河南米山線の交差点は車道の幅員が狭く、通行車両の交通に支障をきたし交通渋滞が発生していたことに加えて、歩道の幅員も狭いため交通事故の危険性がありました。そのため、バイパスを新たに整備し歩車道の幅員を確保することで、歩行者の安全確保と渋滞の緩和を図りました。



国・宮城県全体のトピックス

19日：ソーラーフロンティア東北工場竣工式

大衡村の第二仙台北部中核工業団地にソーラーフロンティア株式会社の東北工場が完成し、竣工式に村井知事と萩原大衡村村長が出席しました。ソーラーフロンティア株式会社は、経済性に優れ、環境に優しい「CIS 薄膜太陽電池（銅、インジウム、セレンを使用した化合物系の太陽電池）」の研究開発・生産・販売を行っています。ソーラーフロンティア東北工場は、現在、商業生産に向けた立ち上げを行っており、量産体制を整えて、東北や北関東を中心に太陽光パネルの供給を行います。



30日：JR仙石線 全線運行開始



東日本大震災により甚大な被害を受け一部不通となっていた仙石線は、「高城駅」～「陸前小野駅」間の運転を再開し、「あお

ば通駅」～「石巻駅」間の全線運転再開となりました。また、東北本線と仙石線間に両線を結ぶ接続線を整備し、仙石東北ラインとして開業しました。本線の開業により仙台～石巻間が最短52分で結ばれます。両線の運転再開・開業により利便性が向上し、復興支援の加速化に貢献するものと期待されます。

30日：常磐自動車道「鳥の海スマート IC」着工式

亘理町とNEXCO 東日本は、平成27年度の完成を目指して、鳥の海スマート IC の事業を進めています。この度、本格的な工事に着手することから着工式が開催されました。鳥の海スマート IC は、山元 IC～亘理 IC 間のほぼ中間に位置した鳥の海PAへの接続型のスマート IC です。近隣には亘理中央工業団地、観光地の鳥の海などがあり、企業誘致や雇用の促進、観光集客の増加などが期待されています。



30日：第3回千年希望の丘植樹祭

岩沼市「千年希望の丘」において、3回目の植樹祭が開催されました。当日は5,000名のボランティアが約5万本の植樹を行いました。

土木部のトピックス

15日：仙台港を中学生が見学

福島県小野町立小野中学校2年生が仙台港の施設の見学に訪れました。フェリーターミナルと高砂コンテナターミナルを仙台塩釜港湾事務所の職員が案内し、仙台港の役割や港に停泊している貨物船などについて説明しました。生徒の皆さんからは、コンテナターミナルのクレーンやストラドルキャリアの迫力がすごかった、フェリーの大きさに驚いた、といった感想が寄せられました。



20日～22日：第1次災害査定

平成28年3月の豪雨により被害が発生した公共土木施設について災害査定を実施しました。県管理分については、仙台土木事務所管内で7件、約1億円の査定決定となりました。



21日：東部土木事務所出前講座を開催

東松島市立矢本第二中学校第1学年の総合学習の一環として、「石巻地域における震災復興について」と題し東部土木事務所による出前講座が行われました。被災状況、復興まちづくり計画、震災の伝承、復旧復興事業などについて説明し、生徒の皆さんが地元の復旧復興や、将来のふるさとの姿について考える機会となりました。



30日：津波防災シンポジウムを開催

山元町中央公民館において「津波防災シンポジウム」を開催しました。基調講演として公益財団法人「ひょうご震災記念21世紀研究機構」副理事長兼研究調査本部長の室崎益輝氏にご講演いただきました。また、「伝承サポーター」認定式を行い、伝承サポーターに認定された個人・団体の方々に認定証を贈呈しました。



国・宮城県全体のトピックス

5日：宮城県港湾復興大会

宮城県港湾協会による「港湾復興大会」が開催され、宮城県の港湾復興に関する決議が採択されました。



8日：コンテナ北米西岸定期航路の新規開設



北米西岸と仙台港とを結ぶ航路が就航しました。既存の北米西岸航路では仙台塩釜港が日本でのラストポートとなる輸出に適した航路であるのに対し、今回の新規航路は、仙台塩釜港が日本でのファーストポートとなる輸入に適した航路であり、仙台塩釜港（仙台港区）の新たな魅力となるものです。北米航路6航路となり、海上輸送の選択肢が一層広がることで、本県をはじめ東北各県に立地する企業の輸出入の利便性が更に向上することが期待されています。

した航路であるのに対し、今回の新規航路は、仙台塩釜港が日本でのファーストポートとなる輸入に適した航路であり、仙台塩釜港（仙台港区）の新たな魅力となるものです。北米航路6航路となり、海上輸送の選択肢が一層広がることで、本県をはじめ東北各県に立地する企業の輸出入の利便性が更に向上することが期待されています。

15日：「東日本大震災アーカイブ宮城」公開

宮城県図書館HPにて県下35市町村と連携・協力して構築した東日本大震災関連資料（映像、音声、動画、文書など）の公開が始まりました。

16日：ユナイテッド航空「仙台-グアム線」就航25周年

「ミスグアム」の皆様が来県し、県民にテレビ番組等でグアムへの旅行をPRしました。



17日：天皇皇后両陛下が宮城県をご訪問

天皇皇后両陛下が私のご旅行として宮城県を訪問されました。はじめに蔵王町の北原尾地区において、戦後にパラオから入植された方々の功績をたたえるため建てられた開拓記念碑を視察されました。その後、白石市の国立花山青少年自然の家南蔵王野営場を訪問され、「第48回全国植樹祭（1997年）」において植樹されたブナとオオヤマザクラの成長を確認されました。



土木部のトピックス

4日：第5回復興道路会議の開催

復興道路等の早期完成を図るため、三陸沿岸道など復興道路、復興支援道路の整備状況を情報共有し、道路整備を町づくりりに生かしていく方策など話し合いました。



6日：川内沢川放水路竣工式

川内沢川では、平成6年9月22日集中豪雨による甚大な浸水被害を契機に上流に川内沢ダム、仙台東部道路より下流では放水路の建設に着手し、事業着手から約20年の歳月をかけ、放水路が完成しました。式典には、約100名の方に参加いただき、関係者への感謝の意を表するとともに、仙台空港を含む沿川地域の治水安全度が向上することを広くお伝えすることができました。



11日：土砂災害防止に関する講習会を開催



市町村職員を対象に、土砂災害防止に関する知識を深め、警戒避難体制の整備を促進するため、講習会を開催しました。今年度からパソコンを用いたハザードマップ作成支援システムの実技講習や、市町村間の意見交換会も実施しました。

12日：土木部防災訓練を実施

今後起こり得る大規模地震・津波等に対する防災体制の確立と防災意識の高揚を図るため、宮城県震災対策推進条例に定める「みやぎ県民防災の日」（6月12日）に合わせ、土木部防災訓練を実施しました。



18日：蔵王山噴火対策砂防計画検討会

蔵王山火山緊急減災砂防計画を踏まえ、県内の公共土木施設管理者が連携し、火山噴火への対策となる行動計画を策定する検討会を実施しました。



国・宮城県全体のトピックス

1日：仙台・宮城【伊達な旅】夏キャンペーン 2015 開幕

7月から9月末までの3カ月間、「仙台・宮城【伊達な旅】夏キャンペーン 2015」が開催されました。仙台・宮城では、平成24年度から平成26年度までの3年間、春の観光キャンペーンを展開しており、平成27年度は春から夏に季節を移し、仙台・宮城の多彩な夏を全国の皆さんに体感していただきました。



15日：宮城県環境アドバイザー会議

県では東日本大震災の河川・海岸災害復旧工事の実施にあたり、「宮城県環境アドバイザー」の助言・指導をもとに環境に配慮した復旧工事を進めていきます。

16日：宮城県建設工事表彰式・事故防止対策推進大会を開催

宮城県建設工事表彰式は、県が発注した工事のうち優良な工事を施工した施工業者及び安全管理に対する取組が優良であった現場代理人を表彰するもので、平成27年度は、82社、95名が受賞されました。



17日：「宮城ふるさとプラザ」リニューアルオープン

首都圏における宮城県の情報発信拠点「宮城ふるさとプラザ」がリニューアルオープンしました。入り口には、伊達政宗公の兜の前立て「三日月」をイメージしたエントランスを設置し、印象的な外観でお客様を迎えます。



19日：岩沼市玉浦西まち開き開催

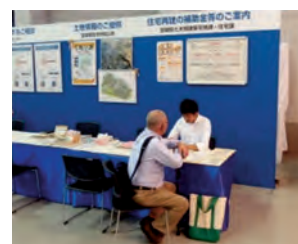
岩沼市玉浦西地区において「玉浦西まち開き」が開催されました。玉浦西地区は平成24年8月から土地の造成工事に着手し、平成27年2月には、鍵の引き渡し式が開催され完成した住宅の引き渡しや入居が始まりました。



土木部のトピックス

11～12日：住まいの耐震博覧会すまい元気フェア

夢メッセみやぎで行われた、民間会社主催の住まいに関する情報を発信するイベントに宮城県職員を派遣し、二重ローン補助などの住宅再建支援制度や各種住宅施策等についての相談に対応しました。



17日：(一) 青根蔵王線が開通

平成25年10月の台風26号で発生した土砂崩れにより約1kmにわたり通行止めとなっていた(一)青根蔵王線が開通しました。



19日：漆沢ダムの「水と森と風のくに祭り」

漆沢ダム湖畔において、第22回水と森と風のくに祭りを開催しました。今年度は、天気にも恵まれて参加者約330人と祭りを盛大に行い、特にイワナのつかみ取りなどは子供たちに大好評でした。



23日：みやぎ県北高速幹線道路 安全祈願祭

みやぎ県北高速幹線道路Ⅳ期区間(築館工区)について、本格的な工事に着手することから、安全祈願祭が開催されました。祈願祭には、関係者約30名が出席し、道路改良工事の安全を祈願しました。

30日：復興まちづくりパネル展開催

県民の皆さまがより身近な場所で復興へのあゆみを実感できるよう、宮城県、石巻市、東松島市、女川町が合同で、「イオンモール石巻」店舗内のほか仙台市の青葉通地下道ギャラリーにおいて、みやぎの復興まちづくりパネルを常設展示しました。



国・宮城県全体のトピックス

4日：「宮城県企業立地セミナー in Tokyo」開催

東京都において開催された企業立地セミナーには、企業 203 社 368 名の方々がご来場され、大盛況となりました。東日本大震災からの復旧・復興状況や復興への取組みをパネルにより紹介したほか、宮城県ブースにおいて、県内への企業誘致に向けた PR 活動を行いました。



5日：タグボート「宮城丸」が就航

「石巻港」は東北唯一の国際拠点港湾「仙台塩釜港」の一港であり、また国際バルク戦略港湾の連携港であるため大型船舶が入港しますが、「宮城丸」はこの石巻港において重要なタグボートになります。これからは、既に配備されている「蔵王丸」との二隻体制で運営されることになり、石巻港の物流機能がより一層向上し、港の安全・安心も高まります。



5日：「登米志津川道路」新 IC 事業が認可

三陸自動車道の「登米志津川道路」登米 PA において、登米市からの IC 連結協議を受け、国土交通大臣が整備計画の変更を行いました。

27日：みやぎ復興現場訪問事業

東日本大震災からの復興に取り組んでいる企業や団体などを村井知事が訪問する「“みやぎの復興現場”訪問事業」を実施しました。この日は、仙台地方振興事務所管内において、「特別養護老人ホーム赤井江マリンホーム」「荒浜にぎわい回廊商店街」「鳥の海ふれあい市場」「農事組合法人仙台イーストカントリー」を訪問し、復興の現状や課題などについて説明を受けるとともに、「アグリビジネスにける女性たちの取り組み」をテーマに意見交換を行いました。

31日：東北医科薬科大学医学部の新設が認可

震災後、県では国に対して東北地方への医学部新設を要望し、「創造的復興」の象徴にもなる事業として取り組みを進めてきました。そして、平成 28 年 4 月より新たに「東北医科薬科大学」が開学します。全国から優秀な医学生が集まり、震災復興と東北地方の地域医療の充実に貢献することが期待されています。

土木部のトピックス

1日～31日：「海の市」復興まちづくりパネル展示

気仙沼市「海の市」協力の下、震災から 5 年目の夏を迎えた復旧・復興まちづくりの状況についてのパネル展を開催しました。



20日：石巻災害公営住宅が完成

石巻市黄金浜北地区で整備を進めていた災害公営住宅が完成し、引き渡しが行われました。完成した住宅 92 戸で入居が始まっています。



21日：海岸保全計画の変更

宮城県では、平成 16 年に三陸南沿岸及び仙台湾沿岸の海岸保全基本計画を策定し、防護、環境、利用の調和のとれた総合的な海岸保全を推進してきました。しかし、平成 23 年 3 月 11 日に東北地方太平洋沖地震が発生し、想定をはるかに超えた津波により、海岸保全施設が壊滅的な被害を受けるだけでなく、多くの尊い人命や財産が失われました。このため、平成 23 年 9 月に関係行政機関で構成される「宮城県沿岸域現地連絡調整会議」において、海岸堤防の高さや構造等の基本的事項を決定し、これに基づき、東北地方太平洋沖地震を踏まえた海岸保全基本計画に変更しました。

27日：第2回貞山運河再生復興幹部会議開催

東日本大震災で甚大な被害を受けた仙台湾沿岸地域の復旧・復興に当たり、復興のシンボルとして誇れる貞山運河を再構築するため、平成 25 年 5 月に「貞山運河再生・復興ビジョン」を策定しました。このビジョン推進に向け、昨年 8 月に学識者を中心とした「第 1 回貞山運河再生復興会議」を開催しました。今回の「貞山運河再生復興幹部会議」は、「貞山運河再生復興会議」の下部組織にあたり、国・県及び運河沿川市町の行政機関が一同に会し、第 1 回会議での学識者意見などの内容報告や各運河での取り組み状況に関する意見交換を行いました。

27日：被災建築物応急危険度判定
全国連絡訓練の実施

日本海沖連動地震を想定した全国連絡訓練が実施されました。

国・宮城県全体のトピックス

1日：石巻魚市場が運用開始



東日本震災により全壊した石巻魚市場が完成し、全棟の供用を開始しました。新しい魚市場は高度衛生管理型を導入した荷捌き施設を備え、これまで以上に安全で安心できる水産物を供給する市場となっており、管理棟の2階にはこの荷捌き施設を見学することができる通路が設けられています。

1日：旧南三陸町防災庁舎一時保存の協定締結

県は南三陸町と「旧南三陸町防災対策庁舎の一時保存に関する協定書」を締結しました。東日本大震災により壊滅的な被害を受けた南三陸町防災対策庁舎は、この経験と教訓を示す貴重な財産として、震災から20年後の平成43年3月10日まで県が維持管理の責任を担います。



14日：Ro-Ro 船の海上輸送のトライアルを実施

日本製紙株式会社石巻工場は、企業BCPの取組の一環として、従来の鉄道やトラックによる輸送の他に、海上輸送手段も確保することを目的にRo-Roによる試験運行を行いました。今回のトライアルは、苫小牧港から東京港へ向かうRo-Ro船「神王丸」（総トン数10,980t）に石巻工場で出荷する積荷（製紙）をシャーシに乗せ、トレーラーにより積み込む作業で、合計10台（約150t）を積み込みました。



15日：みやぎ復旧・復興工事ゼロ災運動推進大会を開催

復旧・復興工事の本格化とともに増加した労働災害の防止及び意識高揚を図るため、ゼロ災運動推進大会を行いました。

土木部のトピックス

5日：仙塩浄化センター下水道ふれあいフェア開催



11日：気仙沼保健福祉事務所の太陽光竣工

グリーンニューディール基金を用いて太陽光発電設備を導入しました。これにより停電時において防災用分電盤から緊急対策や県民情報発信のための電力供給が可能となりました。



10日～11日：関東東北豪雨

9月10日遅くから11日明け方にかけて、東北地方や関東地方に発達した積乱雲が停滞し、各地で観測史上最大の



記録的な豪雨となりました。宮城県には、東北地方では初となる大雨特別警報が発表され、内陸部を中心に大きな被害をもたらしました。この大雨により、鳴瀬川水系渋井川で堤防が決壊し、約430haが浸水するなど宮城県内で多くの被害が発生しました。

17日：七ヶ浜町の災害公営住宅が完成

七ヶ浜町菖蒲田浜地区で整備を進めていた災害公営住宅が完成し、引き渡しが行われました。

20日：迫川フェスティバル開催

第26回長沼レガッタ会場において、長沼ダムの機能を説明するビデオの上映や迫川改修などのパネル展示を行いました。また、官民協働で、「ダムと水環境



に関するクイズ」を実施し、子供たちの長沼ダムへの関心を深めるとともに、長沼ダムの水環境の状況について知っていただきました。

国・宮城県全体のトピックス

4日：石巻女川インターチェンジ開通

三陸沿岸道路「石巻女川IC」と「石巻女川インター線」の開通は、石巻市街地の交通渋滞を軽減するとともに、石巻赤十字病院への広域的なアクセスの強化や、女川町を含む石巻圏域の交流・物流基盤の強化、さらには、大規模災害時における避難路としても、重要な役割を果たします。



4日：名取市「美田園北まちびらき」開催

災害公営住宅、集合住宅等が整備された名取市下増田地区の集団移転先「美田園北」では、住民や市関係者らによる「まちびらき」が開催されました。

6日：唐桑高田道路県境トンネル工事安全祈願祭

唐桑北IC—陸前高田IC間を結ぶ三陸自動車道のうち宮城県と岩手県の県境トンネル工事の着工にあたり安全祈願祭が行われました。

11日：「空の日 仙台空港祭 2015」開催

仙台空港にて開催された仙台空港祭において、定期路線が就航する各都市の観光情報を発信し、仙台空港からの空の旅をPRしました。



17日、18日：ソラ行け旅フェスタ2015開催

仙台市内中心部商店街を会場に、仙台空港から出発する「旅」を紹介するトラベルフェスティバルを開催しました。世界各国や航空会社のブースや民族舞踊や民族音楽などステージイベントで大変な賑わいとなりました。



28日：宮城県広域防災拠点基本設計（案）公表

宮城県では、「宮城県広域防災拠点基本設計（素案）」について、平成27年8月3日から平成27年9月2日の間、ホームページ等を通じ県民のみなさまの御意見等を募集しました。この結果、7名、3団体で合計21件の貴重な御意見・御提言を頂きました。これに対する宮城県の考え方や、御意見等を踏まえて内容の一部を修正した計画の成案を公表しました。



土木部のトピックス

2日：戸倉復興道路の一部供用開始

南三陸町戸倉地区において、国道398号戸倉復興道路を一部供用開始しました。

8日：宮城県土木部優良建設関連業務表彰式を開催

宮城県土木部発注の建設関連業務のうち、業務成績が特に優れた受注者及び管理技術者を対象に表彰式を行いました。



10日：石巻浄化センター「流域下水道まつり」開催

石巻浄化センターを会場に第6回流域下水道まつりが開催されました。今回は天候に恵まれたこともあり、例年をはるかに上回る2,215名の来場者がありました。



21日：住宅フォーラム開催

フォーラムでは「住まい」の復興に焦点を絞り、復興の先にある新しいまちづくりのために、建築に関わる者がどのように取り組んでいくべきか、フォーラム参加者も交えて議論を深めました。



30日：蔵王レストハウスのサイレンが完成

蔵王山の火山活動の活発化に伴い、噴火警戒区域に隣接している蔵王レストハウス周辺の観光客に避難を促すための、サイレン・スピーカーを設置しました。サイレンは約2km、スピーカーは約500m先まで音が届きます。



国・宮城県全体のトピックス

3日：「石巻市被災市街地復興土地区画整理事業
まちびらき」開催

新蛇田地区において、整備過程と現状を、市民及び支援をいただいている全国の皆様に実感していただくため、「まちびらき」イベントを開催しました。



15日：国道108号花淵山バイパスが開通

国土交通省が「国直轄権限代行事業」として整備を進めてきた国道108号花淵山バイパスが開通しました。国道108号は、石巻市から秋田県由利本荘市に至る広域幹線道路であり、物流や観光の面で重要な役割を担っています。花淵山バイパスは、交通難所の解消や災害時の迂回路の確保を目的に整備が進められました。今回の開通により、災害に強く、安全・安心で快適な交通が確保され、宮城・秋田両県の連携強化と交流促進、地域の産業経済の活性化や観光振興への効果が期待されます。

20日：水素エネルギーシンポジウム開催

「東北における水素社会先駆けの地」として水素エネルギーの普及を目指す宮城県は、初めてとなる「みやぎ水素エネルギーシンポジウム」を開催しました。シンポジウムでは、「水素エネルギーの利活用」をテーマとして、水素エネルギーの普及に向けた取組についてパネルディスカッションを行いました。また、会場ではFCV、家庭用燃料電池（エネファーム）の展示も行いました。

24～25日：高木復興大臣が南三陸町、気仙沼市、
女川町を視察

南三陸町志津川地区のまちびらエリアや南三陸病院・総合ケアセンター南三陸などを訪れ、工事の進捗状況を視察しました。

26日：女川町で復興庁「結の場」マッチング開催

ワークショップでは、被災地域企業1社に対し複数の支援提案企業が7つのテーブルに分かれて、対話を行いました。支援提案企業は、被災地域企業から現在抱える課題の説明を受け、質問や課題解決に向けたアイデアが出しました。なお、ワークショップの開始前には、整備中の女川駅前商店街の視察も実施されました。

土木部のトピックス

2日：任期付職員辞令伝達式を開催

11月1日付けで採用となった任期付職員の辞令伝達式を開催しました。

2日：被災宅地危険度判定士講習会の開催

被災宅地危険度判定を実施する技術者を養成するため、県内の建築士等を対象に講習会を実施しました。

5日：東侍浜海岸災害復旧工事の竣工式

東侍浜地区海岸（石巻市荻浜地先）は、東日本大震災により、既存堤防が沈下、倒壊するなど甚大な被害が発生しました。これを受けて、早期に施設の機能回復を図るべく、災害復旧工事を実施してきました。工事着工から2年を経て工事は無事に完成し竣工式を開催しました。



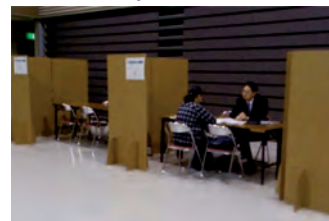
16日～12月18日：第2～6次災害査定

9月の関東・東北豪雨等により甚大な被害が発生した公共土木施設について5次にわたり災害査定を実施し、県管理分について499件、約138億円の査定決定となりました。



29日：「住宅再建まるごと相談会」開催

南三陸町で行われた、宮城県や東北財務局などが主催する相談会に職員を派遣し、県の住宅再建支援制度や各種住宅施策などについての相談に対応しました。



国・宮城県全体のトピックス

6日：仙台市地下鉄東西線が開業

14日：南三陸病院・総合ケアセンター南三陸開設

南三陸町の南三陸病院・総合ケアセンター南三陸が開業しました。この施設は、高台の志津川東地区に建設され、内装には南三陸産の杉材を利用し、ほのかな木の香



りにより、心身をリラックスさせてくれるものとなっています。敷地内には、病院建設に多大なる御支援をいただいた日本赤十字と台湾紅十字への感謝の気持ちを表す記念碑が建てられました。

18日：復興庁「東北観光アドバイザー会議」設置

東北の観光復興を効果的に推進するため、有識者の意見を聞くことを目的として、復興大臣の委任に基づき「東北観光アドバイザー会議」が設置されました。

20日：仙台東部道路「名取スマートIC」着工式

名取中央スマートICは仙台東部道路「仙台空港IC～名取IC」間に位置しており、周辺道路の渋滞緩和、物流拠点の機能強化や企業誘致による雇用の創出など、地域の産業経済に大きな波及効果が期待されています。

23日～：「女川駅前商業エリア」開業

「おながわ復興まちびらき」開催

駅前商業エリアにおいて、150人収容のホールや音楽スタジオなどを備える「女川町まちなか交流館」と、小売店や飲食店、工房などが並ぶテナント型商業施設「シーパルピア女川」に加え、自立再建店舗の開業を祝して、「おながわ復興まちびらき 2015冬」イベントを5日間に渡って開催しました。たくさんの町民や、来町者で連日にぎわいました。



26日：水産技術総合センター完成

震災で被災した水産技術総合センター種苗生産施設は、七ヶ浜町に場所を移して新築しました。アワビ等の種苗育成のための水槽は大小様々なものを設置し、水温調整のための温水・冷却器や、空気を送るためのブロワーを設置する等、育成状況に対応した水環境を整える設備となっています。



土木部のトピックス

国道347号通年通行化

国道347号は12月までに延長11kmのうち道路改良区間延長5.0km、斜面対策区間延長3.2km計8.2kmが完了し、通年通行が可能となりました。



1日：(主) 泉塩釜線を四車線化

(主) 泉塩釜線の多賀城市南宮工区は平成21年4月に暫定二車線で供用を開始しましたが、震災後、本路線と接続する三陸自動車道多賀城ICの整備にあわせて、四車線化工事を進めてきました。四車線化により、三陸自動車道と周辺地域のアクセス向上が図られます。

13日：国道4号線と栗原中央線の開通式

国土交通省及び栗原市が整備を進めてきた国道4号築館バイパス及び市道栗原中央線の開通式が行われました。栗原市街地における交通渋滞の解消、通勤通学時の安全確保や栗原中央病院へのアクセス向上に加え、市の東西交通軸として栗原市の豊かで活力ある地域づくりに寄与するものです。

14日：被災建築物応急危険度判定技術者講習会の開催

被災建築物応急危険度判定を実施する技術者を養成するため、県内の建築士等を対象に講習会を実施し、今年度は4回開催しました。

15～17日：舞根トンネル銘板に寄せ書き

(主) 気仙沼唐桑線「東舞根復興道路」の供用開始を前に、近隣の唐桑小学校へ通う

児童たちに自分の住む街の復興の姿に関心を持ってもらうために、トンネル銘板の裏面に将来の夢などを寄せ書きするイベントを開催しました。



19日：第6回復興加速化会議開催

第6回復興加速化会議が開催され、石井国土交通大臣ほか村井知事、岩手県知事、福島県副知事、仙台市長などが出席し、工事の入札不調対策などについて話し合いが行われました。



国・宮城県全体のトピックス

仙台空港アクセス鉄道利用者数が過去最高

平成27年1月～12月における仙台空港アクセス鉄道利用客数について、開業以来最高の336万人を記録しました。また、仙台空港の乗降客数は、3年連続300万人を突破し、今年度は315万人を記録しました。

仙台塩釜港コンテナ貨物取扱量22万TEU突破 震災以降最高を記録

平成27年1月～12月における仙台塩釜港コンテナ貨物取扱量は、約22万5千TEUを記録しました。22万TEU台を記録するのは、仙台塩釜港においてコンテナ貨物の取扱いを開始して以来初めてであり過去最高の取扱量となりました。

7日：石巻市津波避難タワーの完成

石巻市魚町で津波避難タワー2基の完成報告会が開催されました。タワーの整備により災害時における安全性の確保が期待されています。

22日：『21世紀文明シンポジウム「減災」
—東日本大震災から5年—』開催

東日本大震災から5年の節目となることから東北大学にてシンポジウムが開かれました。約560名の参加があり、積極的な意見交換が行われました。

30日：常磐自動車道「山元南スマートIC」着工式

「山元南スマートIC」は、常磐自動車道「山元IC～新地IC」間に位置しており、搬送時間の短縮による周辺地域の企業誘致の展開や、関東方面からのアクセス性の向上による観光客の増加などが期待されています。



土木部のトピックス

14日：東北大学インフラマネジメント研究センターと協定を締結

近年、社会資本や公共施設の維持管理及びこれらを担う人材の育成が喫緊の課題となっており、地域社会の持続的発展と県民の福祉の向上に寄与することを目的に、相互に連携・協力を図るため協定を締結しました。



21日：荒谷前地区海岸災害復旧工事の竣工

荒谷前地区海岸は、背後の住宅や国道45号、下水処理施設などを保全するため、平成25年10月から災害復旧工事に着手し、気仙沼管内初のL1堤防として無事工事が完成したことから、地元住民、工事及び行政関係者の出席のもと竣工式を行いました。



22日：住宅・社会資本再生復興フォーラム開催

本フォーラムは、宮城県における震災復興の取組みを広く発信するとともに、その取組みを宮城のさらなる発展に繋げていくことを目的として、震災後2年目の平成24年度から毎年開催しています。4回目となる今回のフォーラムでは、東日本大震災からまもなく5年を迎える今、現在の復旧・復興状況についての報告が行われました。また、講演では「東日本大震災から真の復興を果たすために」と題して、増田聡教授(東北大学大学院震災復興研究センター長)から御講演を頂き、これまでの震災への検証を踏まえながら、真の復興を果たすために、今後5年間で何をすべきかなどについての提言を頂きました。



国・宮城県全体のトピックス

1日：仙台空港の一部民営化開始

仙台国際空港株式会社が、平成28年2月1日付けで仙台空港ビル株式会社及び仙台エアカーゴターミナル株式会社の全株式を取得し、完全子会社化することによりビル施設等事業を開始しました。

10日：仙台国際貿易港首都圏セミナーの開催

仙台塩釜港の近郊には、自動車関連産業が集積しているほか、交通ネットワークの充実やモーダルシフトの進展等もあり、今後、さらなる発展が期待されています。このような状況を踏まえ、仙台塩釜港のさらなる飛躍を目指し、今年度もセミナーが開催されました。セミナーでは、宮城県による仙台塩釜港の紹介や仙台塩釜港を利用している荷主企業等による講演が行われました。



11日：復興庁「新しい東北交流会 in 仙台」開催

東北で「新たな挑戦」に取り組む様々な世代・地域・団体の方々と交流する場として「新しい東北」官民連携推進協議会主催「新しい東北交流会 in 仙台」が開催されました。過去最大の80を超える団体が参加し、それぞれの「新たな挑戦」を紹介しました。

16日：国際フィーダーコンテナ航路数が過去最高

仙台港区と東京港間で新たに国際フィーダー航路が増え、過去最高の9航路となりました。



21日：安倍内閣総理大臣が宮城県を視察

安倍総理は塩竈市で塩釜水産物仲卸市場の朝市を視察し、その後、石巻市で新蛇田地区災害公営住宅・防災集団移転宅地及びかき生産者を視察しました。さらに、女川町で中心部地区復興土地区画整理事業を視察しました。



土木部のトピックス

18日：石巻合同庁舎(新)・気仙沼合同庁舎(新)に着工

震災による津波で被災した石巻合同庁舎及び気仙沼合同庁舎の移転・新築事業の各工事の契約が2月議会で議決され、工事の着工に向けて動き出しました。



石巻合同庁舎



気仙沼合同庁舎

19日：雄勝港「浪板防潮堤」完成

浪板防潮堤は、東日本大震災により被災した雄勝港（石巻市雄勝町）の防潮堤としては最初に完成しました。浪板防潮堤の前面の砂浜は海水浴スポットとなっていることから、地域住民、地域づくり支援団体「ナミイタ・ラボ」の意見を取り入れ、防潮堤の階段部分や展望スペースには、地域住民が自ら加工した玄昌石を使った波板地区らしい意匠が施されており、地域の方々と一緒に作り上げた防潮堤となっています。



24日：「伝承プロジェクト」草津市で講演

東日本大震災後の対応や教訓、取り組み等について1県3市で「伝承プロジェクト」と題した報告会を全日本建設技術協会の協力のもと開催しました。



国・宮城県全体のトピックス

4日：気仙沼警察庁舎完成

気仙沼市南郷にあった気仙沼警察署は、東日本大震災の津波で浸水し使用不能となったため、仮設庁舎で業務を行ってきました。新庁舎は旧庁舎から約500m離れた気仙沼市赤岩杉ノ沢（旧鼎が浦高校跡地）に移転新築され、3月22日から業務を開始しています。



5日：仙台湾南部海岸完成式

東日本大震災で被災した仙台湾南部海岸の堤防復旧工事は、延長L=29kmのうち9割以上が完成し、残る区間についても平成28年度内の完成予定となっています。完成式では、事業経過説明の後、地元の仙台私立荒浜小学校児童による「大好きな荒浜の海」と題した作文の朗読があり、完成を祝いました。



11日：東日本大震災から5年（みやぎ鎮魂の日）

19日：常磐自動車道「鳥の海スマートIC」開通

亘理町とNEXCO東日本仙台工事事務所において整備を進めてきた常磐自動車道「鳥の海スマートIC」が開通しました。鳥の海スマートICは亘理町の中心部に位置し、近隣には、亘理中央地区工業団地、観光地の鳥の海などがあり、企業誘致や雇用の促進、観光集客の増加などが期待されます。

27日：多賀城IC供用開始及び仙塩道路四車線化

28日：「道の駅SPOTサービス」が開始

仙台河川国道事務所では、道の駅「三本木」、「上品の郷」、「津山」、「あ・ら・伊達な道の駅」において、「道の駅SPOT」を整備しました。無料公衆無線LANを活用して周辺の「交通情報」「気象・災害情報」など様々な情報にアクセス可能です。

29日：スマート水素ステーション開所式

「創造的な復興」に向けた重点施策の一つとして、東北初となるスマート水素ステーションの整備及び燃料電池自動車3台が導入されました。



土木部のトピックス

12日：（主）古川松山線「志田橋」供用開始

平成19年度から橋りょうの架け替え整備を進めてきた（主）古川松山線「志田橋」が、供用を開始しました。（主）古川松山線は、緊急輸送道路にも指定されている重要な路線であり、新たに架け替えられた「志田橋」の供用開始により、災害に強く、安全・安心で快適な交通が確保されます。



19日：貞山運河「桜」植樹祭を開催

多賀城市貞山公園において、「貞山運河再生・復興ビジョン」に基づく桜植樹会を開催しました。貞山運河への桜植樹は、東日本大震災からの復興の象徴となるとともに津波防災意識の醸成や未来への震災体験の伝承を目的として官民連携で取り組むことを基本としています。



24日：東舞根復興道路の供用開始

（主）気仙沼唐桑線の東舞根復興道路は復興交付金道路事業としては宮城県初の完成となり、地域住民の利便性向上や地域の活性化、災害時における孤立解消や緊急避難道路としての役割が期待されます。

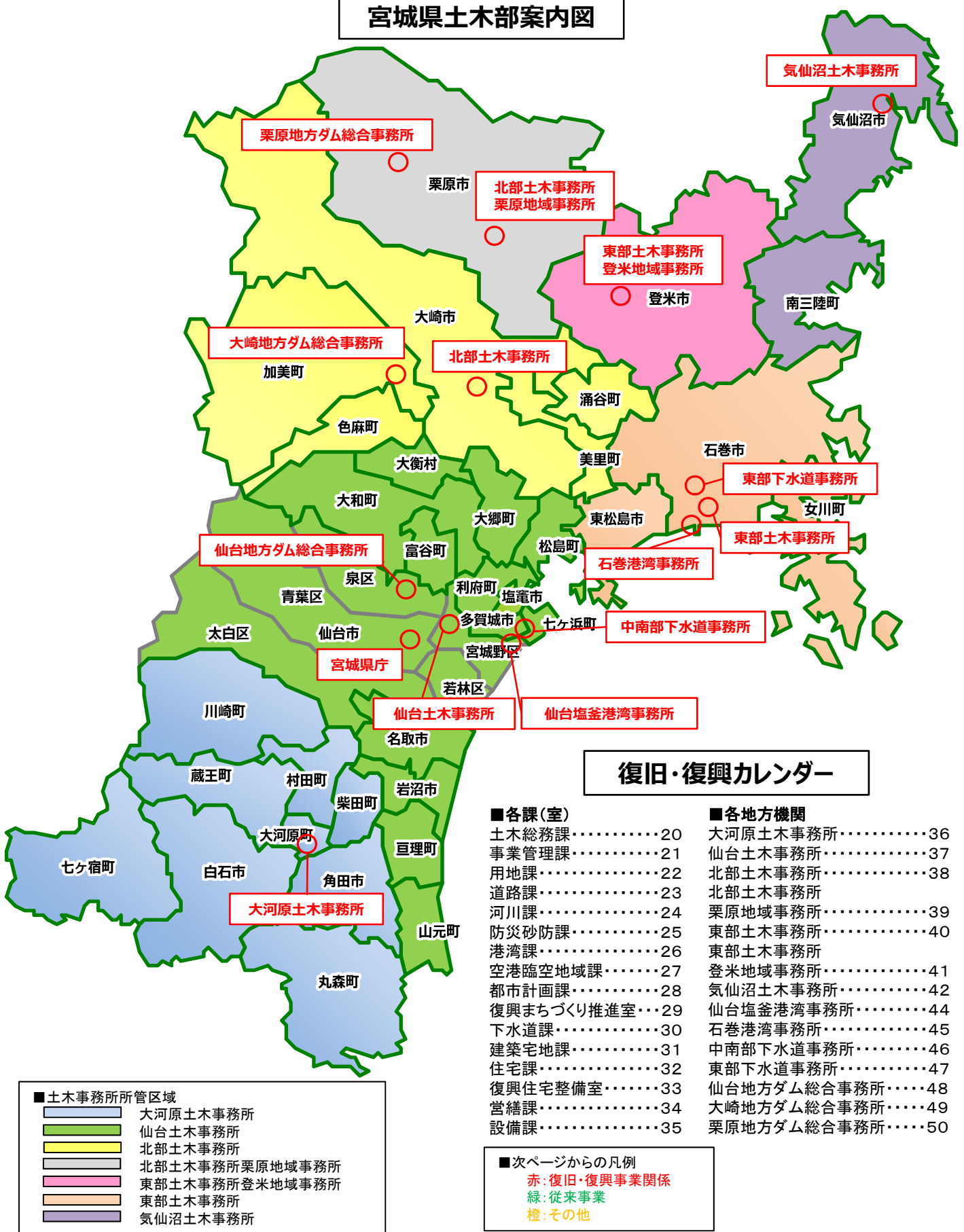
25日：女川湾口防波堤が完成

東日本大震災の津波により、甚大な被害を受け県内唯一の津波防波堤である女川湾口防波堤が完成し、漁港・港湾施設が概成する運びとなり、女川町の復興を地域の皆様に広くお伝えするため、完成式典を開催しました。



3. 平成27年度復旧・復興カレンダー

宮城県土木部案内図



土木総務課「平成27年度復旧・復興カレンダー」

1日 辞令伝達式を開催

新規採用職員40名、自治法派遣職員111名及び任期付職員3名が土木部に配属となり、部長による辞令伝達が行われました。



24日 復興推進会議により平成28年度以降の復旧・復興事業についての方向性が決定

平成28年度以降の復旧・復興事業のあり方についての方針が示されました。これにより、復興の基幹の事業や原子力事故災害に由来する事業の特例措置は継続になりましたが、それ以外の事業については一部負担及び一般会計での事業実施となりました。

28日 岩手県・宮城県・福島県土木部長等要望



国土交通省、復興庁、県選出国會議員に「平成28年度以降の復旧・復興事業に関する要望」及び「国が行う復旧・復興事業の整備促進と特例的な財政支援の継続を求める要望」を行いました。

31日 平成27年度 第2回土木部課室長及び地方公所長会議を開催

事業の執行状況や用地取得に対する取組等について情報共有を図りました。



12日 平成27年度秋季地方ブロック土木部長等会議に出席

東北・北海道ブロックの土木部等部長が福島県の会場に集合し、喫緊の課題等について情報共有を図りました。

22日 ～住宅・社会資本～再生・復興フォーラムを開催

現在の復旧・復興状況の報告とともに集中復興期間の検証を踏まえ、地域が真の復興を果たすために、岩手県、福島県、JR東日本(株)、(独)UR都市機構の方から報告をいただくとともに、今後5年間で何をすべきかについての提言をいただくため、東北大学大学院の増田聡教授を講師に迎え、フォーラムを開催しました。



1日 第16回 岩手県・宮城県・福島県土木部長等連絡調整会議 開催

被災三県の土木部長等が会場の福島県に集合し、用地取得の更なる加速化や建設業の担い手確保対策等について、情報共有を図りました。

11日 東日本大震災の発災から5年が経過

県内各地で追悼式が開催されました。

10日 平成27年度 第1回土木部課室長及び地方公所長会議を開催

平成27年度当初にあたり、部の方針や東日本大震災からの復旧・復興に向けた円滑な事業推進について情報共有を図りました。



15日 岩手県・宮城県・福島県土木部長等要望



国土交通省、復興庁、県選出国會議員に「集中復興期間の延長及び特例的な財政支援の継続を求める要望」及び「国が行う復旧・復興事業の整備促進と全面的な財政支援の継続を求める要望」を行いました。

14日 平成27年度春季地方ブロック土木部長等会議に出席

東北・北海道ブロックの土木部等部長が宮城県の会場に集合し、喫緊の課題等について情報共有を図りました。

27日 平成27年度都道府県土木・建築部等技術次長技監会議に出席



47都道府県及び政令指定都市の土木建築部次長(技監)が宮城県の会場に集合し、喫緊の課題等について情報共有を図りました。

11日 第15回 岩手県・宮城県・福島県土木部長等連絡調整会議を開催



被災三県の土木部長等が会場の岩手県に集合し、復興事業と通常事業における今後の展開や復旧・復興工事の円滑な執行に向けた施工確保等について、情報共有を図りました。

27日 北海道・東北ブロック土木部等技術次長・技監会議に出席

東北・北海道ブロックの土木部等の次長、技監が山形県の会場に集合し、喫緊の課題等について情報共有を図りました。

14日 東北大学大学院工学研究科インフラマネジメント研究センターとの連携・協力協定締結



近年、社会資本や公共施設の維持管理及びこれらを担う人材の育成が喫緊の課題となっており、地域社会の持続的発展と県民の福祉の向上に寄与することを目的に、相互に連携・協力を図るため協定を締結しました。

29日 平成27年度 第3回土木部課室長及び地方公所長会議 開催



平成27年度予算の執行状況及び平成28年度当初予算などについて情報共有を図りました。

事業管理課「平成27年度復旧・復興カレンダー」

16日～17日 自治法派遣職員研修を開催



自治法派遣職員(99名)を対象として、宮城県の被災状況、復興状況等の現状と、宮城県での実務に関する研修を開催しました。

11～13日 新任職員研修を開催



平成27年度に採用された新任技術職員(33名)を対象として、土木部の概要や共通仕様書、建設業法令等の実務的内容の研修、実際の復興事業の現場見学等を実施しました。

4月

5月

16日 宮城県建設工事表彰式・事故防止対策推進大会を開催

宮城県発注の建設工事の優良施工者及び安全管理に対する取組が優良だった現場代理人を対象に表彰式を行いました。



平成27年7月8日, 11月18日, 平成28年2月12日

建設産業振興懇談会を開催

「新・みやぎ建設産業振興プラン」策定にあたり、広く有識者からの意見聴取を行うために3回の懇談会を開催し、平成28年3月にプランを策定しました。



6月

7月

19日 技術管理説明会を開催

県、市町村の技術職員(179名)を対象として、土木工事標準積算基準書の改定内容や復旧・復興事業の円滑な施工確保対策に関する事項等についての説明会を開催しました。



15日 みやぎ復旧・復興工事ゼロ災運動推進大会を開催

復旧・復興工事の本格化とともに増加した労働災害の防止及び意識高揚を図るため、ゼロ災運動推進大会を開催しました。

8月

8日 宮城県土木部優良建設関連業務およびMVP表彰式を開催

宮城県土木部発注の建設関連業務において、業務成績が特に優れた受注者及び管理技術者を対象に表彰式を行いました。

9月

平成27年11月, 平成28年2月

建設産業振興支援講座を開催

11月(国土交通省との共催)と2月に建設業者等を対象に建設産業振興支援講座を計5回開催しました。2月の講座では計97名が参加し、建設業法等の改正内容や法令遵守の普及啓発を図りました。



10月

11月

19日 第6回復旧加速化会議を開催

国土交通省、復興庁、被災三県、建設業界団体等が出席し、東日本大震災の復旧・復興事業の施工確保対策等について意見交換を行いました。国土交通省からは新たな対策として「ICT技術の全面的な活用」等が示されました。



平成27年12月～平成28年1月

県工事新規就労者等安全講習会の開催

東日本大震災後に新規就労者や下請会社の方による労働災害が増加しているため、こうした方々を対象とした安全講習会を計6回実施し、計459名の参加者に対して労働災害防止への意識向上を図りました。

12月

1月



7日 法令遵守講習会を開催

建設工事に係わる県内の市町村、県各機関(140名)を対象に、請負契約の適正化に関する知識等についての講習会を開催しました。



22日 宮城県土木部技術研究発表会を開催

宮城県住宅・社会資本再生・復興フォーラムに合わせ、東日本大震災特別発表会を開催しました。

2月

3月



用地課「平成27年度復旧・復興カレンダー」

8日 新配属用地職員研修会

内容:人事異動により、新たに用地取得業務を担当することとなった職員に対し用地取得に対する心構えを構築しました。
参加者:県職員15名

15日 第1回用地専門監・用地担当班長会議

内容:用地取得に係る課題等を協議しました。
○主な内容
・平成27年度における用地取得事務の留意事項及び平成27年度における用地課の取組等について
・平成27年度における各事務所の目標・方針等について

16, 17日 用地管理システム研修

内容:用地管理システムを使用する部局を対象に、研修会を開催しました。
参加者:37名

12日 用対連宮城県支部定例会・表彰式・講演会



内容:用対連宮城県支部として、定例会及び表彰式並びに講演会を主催しました。8名が受賞しました。

19日 第1回収用裁決申請に係る担当者会議

内容:各土木事務所の収用裁決申請担当用地職員を対象として、収用裁決申請に係る質疑応答、収用委員会事務局からの情報提供等の場を設け、収用裁決申請事務の推進を図りました。
参加者:15名

27日 第2回用地専門監・用地担当班長会議

内容:用地取得にかかる課題等を協議しました。
○主な内容
・用地事務の適正な処理について
・用地事務におけるマイナンバーの取扱いについて
・用地取得状況等の把握のための資料提供依頼及び現地調査の協力依頼。

公共用財産管理条例の改正

公共用財産管理条例を見直し、11月議会において承認され、改正しました。

24日, 25日 事務所訪問②(現地調査)

内容:現在の課題についてヒアリングし、詳細について数値化し、分析した資料を作成しました。

10日 第2回収用裁決申請に係る担当者会議

内容:収用裁決事務における課題等を協議しました。
○主な内容
・文書による用地交渉について
・事務所からの事例発表
・不明裁決ガイドラインによる適正な調査について
参加者:11名

16日 東北地方整備局表彰式

東日本大震災に伴う集中復興期間において功績があった団体として、国土交通省東北地方整備局長より表彰を受けました。

20, 21日 土木部職員研修(用地講座)第1期

内容:新規用地担当職員に対し、用地取得の基礎知識を研修しました。市町村支援の観点から、市町村職員の受講も可能としました。
参加者:県職員33名, 市町村職員52名 計85名

28, 29日 土木部職員研修(用地講座)第2期

内容:新規用地担当職員に対し、用地取得の基礎知識を研修しました。今年度は2日間ずつ2回に分けての開催を試み、好評でした。
参加者:県職員29名, 市町村職員56名 計85名

10, 11, 12, 17, 18日 事務所訪問①(隘路調査)

内容:課長とともに各土木事務所を訪問し、隘路案件等の聞き取りを行いました。

28, 29, 30日 収用裁決申請研修会

内容:主に沿岸3土木の用地職員及び技術職員を対象に、事業認定申請及び収用裁決申請の基礎的な知識の習得を図りました。
参加者:仙台26名, 東部46名, 気仙沼14名

12, 13日 北海道・東北六県用地主管課長会議(本県主催)



内容:北海道・東北六県の用地主管課が集まり、用地取得における問題点と解決方法について議論及び検討しました。

4日 土木部職員研修(用地補償実務研修)

内容:土木部用地中級職員向けに、会計検査等の内容を踏まえ、適切な補償のあり方についての講義等の研修を行いました。
参加者:土木部用地職員17名

14日 用対連宮城県支部用地補償研修会

内容:県を含めた宮城県支部会員の用地職員としての資質向上及び用地補償業務の適正かつ円滑な推進のため、研修会を開催しました。
参加者:83名

14日 用地取得に係る取組事例説明会

内容:市町村の用地担当職員を対象に、本年度宮城県における用地事務の取組事例で、参考になりそうな事例について紹介しました。
参加者:市町村職員37名

19日 第3回用地専門監・用地担当班長会議

内容:用地取得に係る課題等を協議しました。
○主な内容
・文書による用地交渉の改善点等について
・建物移転料算定要領・土地価格比準表等の改訂に伴う説明会の内容について
・事業認定申請に当たりの収用委員会事務局との事前相談について

15, 17日 事務所訪問③(収用案件調査)

内容:収用裁決に向けた事務所の取組状況及び疑問点等を聞きとり、回答を行うことにより収用裁決申請の推進を図りました。

道路課 「平成27年度復旧・復興カレンダー」

4日 第5回 復興道路会議開催

復興道路等の早期完成を図るため、関係期間の連携による課題解決を目的に、本会議が開催されました。今回の会議では、三陸沿岸道路、復興支援道路の整備状況を情報共有し、道路整備を町づくりに生かしていく方策などを話し合いました。



4日 三陸沿岸道路「石巻女川IC」及び県道「石巻女川インター線」開通

三陸沿岸道路「石巻女川IC」「石巻女川インター線」の開通は、石巻市街地の交通渋滞を軽減するとともに、石巻赤十字病院との広域的なアクセス強化や、女川町を含む石巻圏域の交通・物流の強化、さらには、大規模災害時における避難路や支援路などとして、非常に重要な役割を果たします。



20日 仙台東部道路 名取中央スマートIC着工式

名取市とNEXCO東日本が平成28年度の完成を目指している本事業について、本格的な工事に着手することから、着工式が開催されました。



12日 (主)古川松山線 志田橋 供用開始

平成19年度より整備を進めてきた主要地方道古川松山線の下中目区(「志田橋」を含む2.3km区間)が供用開始を迎えました。志田橋の完成により、通行の快適化や歩道新設、耐久性向上など安全・安心が確保され、物流や地域感交流の送信など、大前地域及び県内の復興・進行に大きく貢献していくことが期待されます。



24日 (主)気仙沼唐桑線 東舞根復興道路 開通

東日本大震災で甚大な被害を受けた、東舞根地区において整備が進められている、防災集団移転地と気仙沼中心市街地を接続する道路として整備。復興交付金道路事業としては本県初の完成となり、地域住民の利便性向上や地域の活性化、災害時における孤立解消や緊急避難道路としての役割が期待されます。



4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

3日～14日 道路ふれあい月間

道路ふれあい月間は、日頃道路を利用している皆様に、道路とふれあい愛着を持っていただくとともに、道路の重要性や役割を改めて再確認していただき、道路を安全に美しく利用する気運を高めることを目的として実施されています。

15日 国道108号花洲山バイパス開通

現道区間における道路陥路の解消等を確保を目的とした延長約6.4kmのバイパス道路。今回の開通で、災害に強く、安全・安心で快適な交通の確保や、地域の産業経済の活性化、観光振興が期待されます。



30日 常磐自動車道 山元南スマートIC着工式

山元町とNEXCO東日本が平成28年度の完成を目指している本事業について、本格的な工事に着手することから、着工式が開催されました。



19日 常磐自動車道 鳥の海スマートIC供用開始

鳥の海スマートICは亶理町の中心部に位置し、近隣には、亶理中央地区工業団地、観光地の鳥の海などがあるため、開通により、企業誘致や雇用の促進、観光集客の増加などが期待されています。



27日 仙塩道路4車線化及び多賀城IC供用開始

当該区間の4車線化により三陸沿岸道路と仙台北部道路の合流部の交通が円滑になり、渋滞緩和や物流の効率化が期待されます。また、多賀城ICの開通により地域の観光振興や産業の活性化などが期待されます。



河川課 「平成27年度復旧・復興カレンダー」

8月7日 海岸保全基本計画の主務大臣協議

三陸南沿岸及び仙台湾沿岸について、震災被害の特徴や今後の防災対策で対象とする津波の考え方を踏まえ、海岸保全基本計画を改定しました。改定にあたり、宮城県沿岸懇談会を開催し、学識経験者等から意見をいただきました。



大川水系外9圏域・水系に関わる

河川整備計画懇談会を開催

7月24日(第1回), 12月22日(第2回), 2月17日(第3回)

河川に対する県民のみならずのニーズに的確に応え、各河川の規模や特性、地域の風土、歴史及び地域との関わりなどの実情に応じた整備を進めるために、「河川整備学識者懇談会」を開催しました。



平成27年9月関東・東北豪雨による被災

9月10～11日にかけての雨では県内各地の雨量が観測史上1位を更新するなど記録的な豪雨となり、東北地方では初めての大雨特別警報が発令されました。この大雨により100河川496箇所で被災し、このうち11河川23箇所堤防決壊する被害が発生しました。



< 破堤した渋井川 >

浸水被害が大きかった渋井川などでは災害関連事業が採択されました。

1月21日 荒谷前地区海岸災害復旧工事

竣工式を開催

荒谷前地区海岸は、背後の住宅や国道45号、下水処理施設などを保全するため、平成25年10月から災害復旧工事に着手し、気仙沼管内初のL1堤防として無事工事が完成したことから、地元住民、工事及び行政関係者の出席のもと竣工式を行いました。



3月19日 貞山運河「桜」植樹会を開催

「貞山運河再生・復興ビジョン」に基づき、東日本大震災からの復興の象徴、津波防災意識の醸成や未来への震災体験の伝承を目的として、官民連携で植樹会(多賀城貞山公園)を開催しました。



6月6日 川内沢川放水路竣工式を開催

川内沢川放水路は、平成7年度より事業を進めており、この度、完成し竣工式を開催しました。式典には、約100名の方に参加いただき、関係者への感謝の意を表するとともに、仙台空港を含む沿川地域の治水安全度が向上することを広くお伝えすることができました。



10月30日 平成27年度第1回知水講座

～地形から読む身近な河川の恩恵と物語～を開催

公開講座として、県民の皆様にも、宮城県の河川行政を知っていただくとともに、今後の宮城県の河川行政のあり方を一緒に考えることを目的として、知水講座を開催しました。



10月16日 貞山運河再生復興会議を開催

学識者や関係機関等から「貞山運河再生・復興ビジョン」に掲げる施策への取組み内容に関する助言をいただくとともに、参加者間の連携強化と調和の取れた復興を図ることを目的として、貞山運河再生復興会議を開催しました。



11月5日 東侍浜地区海岸災害復旧工事

竣工式を開催

東侍浜地区海岸は、東日本大震災時に既存堤防が沈下、倒壊するなど甚大な被害を受け、早期に施設の機能回復を図るべく、災害復旧工事を実施してきました。平成25年9月の工事着工から2年を経て無事に工事が完成し、竣工式を迎えることができました。



2月8日 大江川の再度災害防止に係る学識者

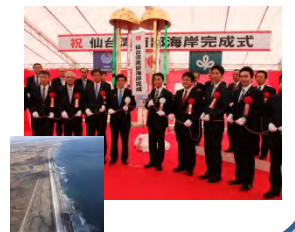
懇談会を開催

平成27年9月関東・東北豪雨により、大崎市の市街地を流れる大江川においても、越水により広範囲にわたる浸水被害が発生しました。今回の豪雨被害を踏まえ、再度災害防止を目的とし、河川改修の進め方について、学識経験などを有する方々から意見を聴きました。



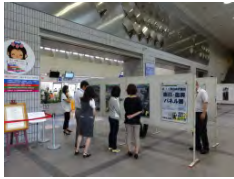
3月5日 仙台湾南部海岸完成式を開催

仙台湾南部海岸の堤防復旧工事が、直轄区間と直轄代行区間のうち9割以上が完成したことに伴い完成式を開催しました。東北地方整備局長から宮城県知事へ代行区間の引渡しを行い、くす玉開披と復旧記念銘板を披露して完成を祝いました。



防災砂防課 「平成27年度復旧・復興カレンダー」

平成27年4月～平成28年3月 復旧・復興パネル展開催



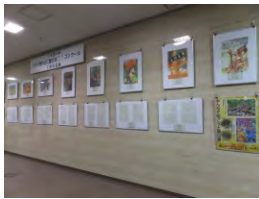
公共土木施設の復旧について、「復旧・復興パネル展」を県庁18階の常設展示を始め、防災訓練など県内外で実地しました。本年度は計21回出展し、広く情報発信し防災意識の啓発を図る活動を行いました。

20日～22日 第1次災害査定

3月の豪雨により被害が発生した公共土木施設について災害査定を実施しました。県管理分については、仙台土木事務所管内で7件、約1億円の査定決定となりました。



8日～12日 H26土砂災害防止に関する 絵画・作文コンクール入賞作品パネル展示



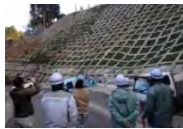
土砂災害及びその防止についての理解と関心を深めてもらうため、次代を担う小・中学生を対象に開催したコンクールの県審査入賞作品17点を展示しました。H26年度の中央(国)審査では、小学校作文の部と中学校絵画の部で国土交通事務次官賞を受賞しました。

12日 土木部防災訓練を実施

今後起こり得る大規模地震・津波等に対する防災体制の確立と防災意識の高揚を図るため、「みやぎ県民防災の日(6月12日)」に土木部防災訓練を実施しました。



11～13日 補助事業完了検査の受検



松川下流火山砂防事業等水管理・国土保全局所管の補助事業に係る完了検査を受検しました。

11月16日～12月18日 第2～6次災害査定

9月の関東・東北豪雨等により甚大な被害が発生した公共土木施設について5次にわたり災害査定を実施し、県管理分について499件、約138億円の査定決定となりました。



7月9日、2月24日 伝承プロジェクト講演

東日本大震災後の対応や教訓、取り組み等について1県3市で「伝承プロジェクト」と題した報告会を全日本建設技術協会の協力のもと開催しました。本課は、富士宮市及び草津市で講演を行いました。



4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

12日 宮城県治水協会・宮城県砂防協会 合同通常総会を開催

仙台市内にて、三浦副知事、安藤県議会議長等の来賓を迎えて開催しました。総会に引き続き、宮城県治水大会及び宮城県砂防大会も開催しました。



30日 津波防災シンポジウムを開催



山元町中央公民館において、「津波防災シンポジウム 大震災から学ぶ教訓～後世への震災伝承～」を開催し、約240名の参加者と震災の伝承の在り方などの理解を深めました。

11日 土砂災害防止に関する講習会を開催

市町村職員を対象に、土砂災害防止に関する知識を深め、警戒避難体制の整備を促進するため、講習会を開催しました。今年度からパソコンを用いたハザードマップ作成支援システムの実技講習や、市町村間の意見交換会も実施しました。



14～15日 全国治水砂防協会 東北地区協議会通常総会を開催



南三陸町にて、国交省大野砂防部長、全国治水砂防協会岡本理事長、県土木部後藤次長を来賓を迎えて開催しました。翌日には、石巻市及び女川町の砂防施設の視察研修を実施しました。

18日 宮城県蔵王噴火対策砂防計画検討会を開催

蔵王山火山緊急減災砂防計画を踏まえ、県内の公共土木施設管理者が連携し、火山噴火への対策となる行動計画を策定する検討会を実施しました。



26日 全国治水砂防促進大会に参加

東京都砂防会館にて開始され、本県からは村上蔵王町長、大橋涌谷町長など5名が参加しました。大会後には、県選出国會議員への砂防関係事業推進の要望活動を実施しました。

24日 災害査定臨場研修を実施



実際の災害査定状況にふれることにより、災害対応力及び技術力向上を図ることを目的に第3次査定に合わせ、県及び市町村等の災害実務担当者を対象に実施しました。

8～9日 災害復旧事業成功認定検査の受検

平成26年度施行分に係る447件571億円の公共土木施設災害復旧事業に係る成功認定検査を受検しました。

港湾課 「平成27年度復旧・復興カレンダー」

5月15日 大型客船「につぼん丸」寄港(石巻港区)

石巻港区への「につぼん丸」の寄港が震災後4回目となりました。



6月8日 外貨コンテナ定期航路「北米西岸航路」の新規開設(仙台港区)

仙台港区と北米西岸にある米国タコマ港やカナダのバンクーバー港等をダイレクトに結ぶ航路が新設されました。



9月5日

10月4日 大型客船「飛鳥Ⅱ」寄港(仙台港区)



仙台港区に大型客船「飛鳥Ⅱ」が寄港しました。

10月26日 外貨コンテナ定期航路「韓国航路」の新規開設(仙台港区)

仙台港区と韓国の釜山港をダイレクトに結ぶ新たな航路が開設されました。



11月7日 外貨コンテナ定期航路「ロシア極東航路」の新規開設(仙台港区)

仙台港区で外貨コンテナ定期航路として初めて、ロシア連邦とダイレクトに結ばれました。



1月22日 東北地区港湾安定協議会

東北地区で港湾関係者と各県等による港湾利用に関する意見交換を行いました。

2月16日 国際フィーダーコンテナ航路数が過去最高(仙台港区)

仙台港区と東京港間で、新たに国際フィーダー航路が増え過去最高の9航路となりました。

2月19日 雄勝港波板地区の防潮堤完成



平成27年3月に着手した浪板地区の防潮堤災害復旧工事が完成しました。



3月1日 国際航路の新造船「HIBARINO」が初入港(石巻港区)

新造貨物船「HIBARINO」が初入港し、石巻港とマレーシア間の定期航路に就航しました。

6月5日 宮城県港湾復興大会

宮城県港湾協会による「港湾復興大会」が開催され、宮城県の港湾復興に関する決議が採択されました。



7月16日 LNG船の第一船入港(仙台港区)



新仙台火力発電所(東北電力)にLNG第一船(液化天然ガス)が入港しました。

9月14日 震災後初のRORO船が入港(石巻港区)

石巻港で日本製紙による震災後初めてR0-R0船による海上輸送のトライアル輸送を開始しました。



11月5日 地震・津波防災訓練(塩釜港区)



「津波防災の日」に塩釜港区で大規模な地震・津波防災訓練を実施しました。

11月26日 火力発電所の着工(石巻港区)

日本製紙石巻エネルギーセンター(株)による石炭・バイオマス混焼火力発電施設の着工式が雲雀野地区で開催されました。



12月31日 コンテナ貨物取扱量が過去最高(仙台港区)

平成27年のコンテナ貨物取扱量が過去最高となる22万5千TEU(速報値)となりました。

2月10日 仙台国際貿易港首都圏セミナーの開催

仙台塩釜港の魅力や優位性、港湾施設の整備状況など、企業向けセミナーをホテル椿山荘東京で開催し、約550名のお客様にお越しいただきました。



2月23日 松島湾の海域環境復興を考える検討会

松島湾の海域環境復興に向けて、関係者と意見交換しました。

3月18日 東北広域港湾防災対策協議会

大規模な地震・津波時に港湾機能を継続させるため協議会を国・各県・港湾関係団体で開催しました。

3月25日 女川みなとびらき・湾口防波堤完成式

平成24年7月から着手した、女川湾口防波堤が完成しました。



空港臨空地域課「平成27年度復旧・復興カレンダー」

4月
アジアナ航空「仙台-ソウル線」就航25周年



就航25周年を記念して、仙台空港でセレモニーを開催、関係者によるテープカットや韓国民族舞踊の披露などを行いました。

7月
ユナイテッド航空「仙台-グアム線」就航25周年



「ミスグアム」の皆様が来県し、県民にテレビ番組等でグアムへの旅行をPRしました。

10月
エアアジア・ジャパンが仙台便の定期便就航を発表

エアアジア・ジャパンが「仙台-名古屋(中部)」線の定期便就航を発表しました。

10月
「ソラ行け旅フェスタ2015」を開催

仙台市内中心部商店街を会場に、仙台空港から出発する「旅」を紹介するイベントを開催しました。世界各国や航空会社のブースや民族舞踊や民族音楽などステージイベントで大変な賑わいとなりました。



平成27年
仙台空港乗降客数・アクセス鉄道利用者数

仙台空港乗降客数は約315万人で3年連続で300万人を超え、アクセス鉄道利用者数は約336万人で昨年に引き続き過去最高の利用者数となりました。

2、3月
「Wake Up, 宮城！ 触れ愛プロジェクト in 台湾」



宮城県を舞台にしたアニメ「Wake Up, Girls!」を台湾でPRし、宮城県への観光客誘致につなげるプロジェクトを行いました。

9月
仙台空港民営化 優先交渉権者の選定

国の審査を経て、東急電鉄・豊田通商・前田建設工業等のコンソーシアムが運営権を担う優先交渉権者に選定されました。

10月
「空の日 仙台空港祭 2015」で就航地PRを実施

仙台空港にて開催された仙台空港祭において、定期路線が就航する各都市の観光情報を発信し、仙台空港からの空の旅をPRしました。



12月
仙台空港民営化 運営権者と契約締結

東急電鉄・豊田通商・前田建設工業等のコンセツショングループが設立した仙台国際空港(株)と国が運営権の実施契約を締結しました。

2月
グアム国際空港との姉妹空港提携の覚書更新



宮城とグアムの交流をさらに深めるべく、平成24年11月に交わした姉妹空港提携の覚書の更新を行いました。

3月 仙台空港フロンティアパーク造成工事完了



仙台空港に隣接する中坪・荷揚場地区において空港周辺地域の活性化に向けて、造成工事が完了しました。平成28年4月から分譲開始されます。

都市計画課「平成27年度復旧・復興カレンダー」

28日 都市計画担当課長会議



15日 復興整備協議会

30日 第3回千年希望の丘植樹祭（岩沼市）

新定川第大橋下部工工事に着手

平成27年6月（都）矢本門脇線（復興交付金事業）
（仮）新定川大橋下部工工事の工事請負契約に
ついて、6月議会を経て締結し、工事に着手

17日 復興整備協議会

12日 復興整備協議会

八幡築港線4車線化供用開始

平成27年8月（都）八幡築港線（通常事業）
4車線(L=600m) 供用を開始し、事業が完了

10日 第4回千年希望の丘植樹祭
（岩沼市）

28日 宮城県広域防災拠点基本設計（案）
公表



3日 石巻市被災市街地復興
土地区画整理事業まちびらき



18日 多賀城駅北地区
第一種市街地再開発事業 竣工式

25日 第180回 都市計画審議会

28日 復興整備協議会

30日 名取駅前地区
第一種市街地再開発事業 認可書交付式

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

19日 塩竈市海岸通1番2番地区
第一種市街地再開発事業 認可書交付式



4日 石巻市 立町二丁目5番地区
第一種市街地再開発事業 地鎮祭



21日 石巻市南浜地区復興祈念公園(仮称)
石巻市南浜地区復興祈念公園(仮称)基本計画策定

28日 第178回 都市計画審議会

18日 復興整備協議会

7日 第1回石巻市南浜地区
復興祈念公園（仮称）有識者委員会



石巻市南浜地区復興祈念公園(仮称)に関する有識者会議を開催

4日 復興整備協議会

21日 第179回 都市計画審議会

（都）山下駅前線工事に着手

平成28年1月（都）山下駅前線（復興交付金事業）
道路改築工事請負契約を締結し、工事に着手

9日 第2回石巻市南浜地区復興祈念公園
有識者委員会



石巻市南浜地区復興祈念公園に関する有識者会議を開催し、正式名称が決定

復興まちづくり推進室「平成27年度復旧・復興カレンダー」

「宮城県復興まちづくりのあゆみ」を作成

震災からの4年間を振り返って、復興まちづくりの基本的方針や財源・人員の確保など、県の取り組みを項目別に記載することで、今後高い確率で発生が予想されている南海地震等の事前検討の一助となるよう取りまとめました。



4月

23日 第1回復興まちづくり事業勉強会を開催

4月23日、沿岸被災市町の復興まちづくり事業について、新たにまちづくり事業に携わる職員等を対象とした平成27年度第1回復興まちづくり事業勉強会を開催しました。



5月

6月

7月

会議・シンポジウムでの講演を実施

6月16日に高知県震災復興都市計画指針検討会議、10月22日に北海道天使大学震災復興支援シンポジウムにおいて、震災復興の現状や課題について講演を行いました。



8月

9月

10月

「みやぎの復興まちづくりパネル」を展示

被災された方々がより身近な場所で復興へのあゆみを実感できるよう、7月30日から県と石巻市、東松島市、女川町の合同によりイオンモール石巻店舗内のほか、仙台市の青葉通地下道ギャラリーにおいてみやぎの復興まちづくりパネルを常設展示しました。



11月

28日 第2回復興まちづくり事業勉強会を開催

10月28日沿岸市町で復興まちづくり事業を担当する市町職員を対象とした第2回復興まちづくり事業勉強会を開催しました。復興局、山元町、女川町より復興まちづくりに関する取り組み等の説明をいただきました。



12月

1月

2月

3月

UR都市機構と共同による企業向けアンケートを実施

独立行政法人都市再生機構(UR 都市機構)と共同でパンフレットを作成し、全国約5,200社の企業を対象にアンケートを実施しました。アンケート結果については、対象となる市町と情報共有し、今後の誘致活動などに活用することとしています。



みやぎの復興まちづくりパネル展を開催

支援に対する感謝と震災の風化防止を目的に、沿岸市町と連携して、復旧・復興が進む宮城県沿岸市町における復興まちづくりの状況を伝えるパネル展を、全国5箇所で開催しました。



下水道課 「平成27年度復旧・復興カレンダー」

市町村指導関連

県事業その他関連

4月

平成27年4月～平成28年3月
第4期指定管理者による維持管理(2年目)

7流域全ての下水処理施設において、平成26年度から5年間の協定を指定管理者と締結し、施設の維持管理を実施しております。
下水処理で発生する下水汚泥を乾燥・燃料化するなど、下水汚泥の減量化や燃料化物の売却等により継続的な汚泥処分費の縮減を図っています。



5月

6月

7月

平成27年9月 仙塩浄化センター
下水道ふれあいフェア2015
(来場者数:2,215名)



8月

9月

平成27年10月 石巻浄化センター
平成27年度第6回流域下水道まつり
(来場者数:1,200名)



10月

11月

平成27年11月
北海道・東北ブロック災害時支援連絡会議

災害時の支援体制を充実させるために開催される会議において、本ブロック関連自治体から東日本大震災等の災害事例を集計した内容について報告を行うと共に、ブロック内における災害事例情報の共有化を図りました。

下水道施設 災害復旧事例集



北海道・東北ブロック下水道災害時支援連絡会議

4-8 河川の一部を冠した緊急避難施設による溢水対策
—下水道の緊急を要する上、事故に際しては迅速な対応が求められる下水道施設に重点的に取り組む—

1. 概要	2. 概要	3. 概要
<p>1. 概要</p> <p>対象自治体: 宮城県仙台市</p> <p>施設名称: 宮城県仙台市下水道局 宮城工場</p> <p>施設種別: 下水処理施設</p> <p>概要: 宮城県仙台市宮城工場は、宮城県仙台市宮城野区に所在する下水処理施設である。平成27年10月、大雨による河川水位の上昇に伴い、工場敷地内を流れる河川が氾濫し、工場敷地内に浸水した。浸水した工場敷地内には、下水処理施設の一部が浸水し、処理能力が低下した。このため、工場敷地内の下水処理施設の一部を緊急避難施設として活用し、浸水による被害を軽減した。</p>	<p>2. 概要</p> <p>対象自治体: 宮城県仙台市</p> <p>施設名称: 宮城県仙台市下水道局 宮城工場</p> <p>施設種別: 下水処理施設</p> <p>概要: 宮城県仙台市宮城工場は、宮城県仙台市宮城野区に所在する下水処理施設である。平成27年10月、大雨による河川水位の上昇に伴い、工場敷地内を流れる河川が氾濫し、工場敷地内に浸水した。浸水した工場敷地内には、下水処理施設の一部が浸水し、処理能力が低下した。このため、工場敷地内の下水処理施設の一部を緊急避難施設として活用し、浸水による被害を軽減した。</p>	<p>3. 概要</p> <p>対象自治体: 宮城県仙台市</p> <p>施設名称: 宮城県仙台市下水道局 宮城工場</p> <p>施設種別: 下水処理施設</p> <p>概要: 宮城県仙台市宮城工場は、宮城県仙台市宮城野区に所在する下水処理施設である。平成27年10月、大雨による河川水位の上昇に伴い、工場敷地内を流れる河川が氾濫し、工場敷地内に浸水した。浸水した工場敷地内には、下水処理施設の一部が浸水し、処理能力が低下した。このため、工場敷地内の下水処理施設の一部を緊急避難施設として活用し、浸水による被害を軽減した。</p>

4. 詳細概要(写真等)
<p>4. 詳細概要(写真等)</p> <p>写真: 工場敷地内の浸水状況</p> <p>写真: 緊急避難施設としての活用状況</p>

5. 被災状況
<p>5. 被災状況</p> <p>被災状況: 工場敷地内の浸水状況</p> <p>被災状況: 緊急避難施設としての活用状況</p>

6. 今後の対応
<p>6. 今後の対応</p> <p>今後の対応: 浸水対策の検討</p> <p>今後の対応: 緊急避難施設の活用</p>

7. 参考資料
<p>7. 参考資料</p> <p>参考資料: 宮城県仙台市下水道局 宮城工場</p> <p>参考資料: 宮城県仙台市下水道局 宮城工場</p>

8. 問い合わせ先
<p>8. 問い合わせ先</p> <p>問い合わせ先: 宮城県仙台市下水道局 宮城工場</p> <p>問い合わせ先: 宮城県仙台市下水道局 宮城工場</p>

平成27年7月～平成28年3月
国土交通省防災課協議

震災により被災した各市町の公共下水道に係る災害復旧事業の災害査定に関し、国土交通省との設計変更協議対応を行いました。

実施日

実施内容

- H27. 7.10 設計変更協議(石巻市1、名取市4)
- H27. 7.24 設計変更協議(名取市4、岩沼市1)
- H27. 8.25 設計変更協議(名取市2)
- H27. 9.15 設計変更協議(石巻市5、気仙沼市4、亶理町2、南三陸町1)
- H27. 9.16 設計変更協議(名取市2、東松島市5、女川町1)
- H27.10.20 設計変更協議(石巻市5、女川町1)
- H27.12.10 設計変更協議(女川町1、南三陸町1)
- H28. 1.13 設計変更協議(女川町1)
- H28. 2. 3 設計変更協議(気仙沼市1、名取市3、岩沼市1、七ヶ浜町1、亶理町2、山元町5)
- H28. 2. 4 設計変更協議(石巻市8、女川町1)
- H28. 2.26 設計変更協議(石巻市9)
- H28. 2.29 設計変更協議(気仙沼市1、名取市3、山元町5、女川町1)
- H28. 3. 9 設計変更協議(石巻市4、気仙沼市1、名取市1、七ヶ浜町1)

平成27年5月、平成27年9月、平成28年1月
復興交付金事業技術的支援

●市町村の実施する下水道復興交付金事業(D-21)について、第12回～第14回申請にあたり、技術的な支援を実施しました。

対象市町村:10市町

(石巻市、塩竈市、気仙沼市、多賀城市、岩沼市、東松島市、亶理町、松島町、利府町、女川町)

配分可能額 : 約95.7億円

12月

1月

2月

3月

建築宅地課「平成27年度復旧・復興カレンダー」

4月初め セブツ町花洲浜笹山地区の宅地引渡しの開始



セブツ町花洲浜笹山地区で宅地の引渡しが始まり、町内の5地区226区画のすべてで引渡しが可能となりました。

4月

15日 宮城県建築物等地震対策推進協議会の開催

県内の建築物等の総合的な地震対策の推進を図る協議会の総会を開催しました。

5月

27日及び29日 改正建築基準法の講習会開催

建築団体が主催する建築士を対象とした改正建築基準法の講習会に、講師の派遣をしました。

6月

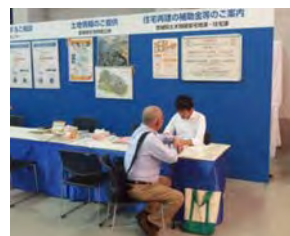
17日、22日及び24日 改正建築士法の講習会開催

建築団体が主催する建築士を対象とした改正建築士法の講習会に、講師の派遣をしました。

7月

11日及び12日 住まいの耐震博覧会 すまい元気フェア

夢メッセみやぎで行われた、民間会社主催の住まいに関する情報を発信するイベントに、職員を派遣し、耐震診断及び耐震改修工事の助成等の相談に対応しました。



8月

27日 被災建築物応急危険度判定全国連絡訓練の実施

日本海沖連動地震を想定した全国連絡訓練が実施されました。

9月

4日 宮城県建築行政マネジメント計画推進協議会開催



宮城県建築行政マネジメント計画の推進にあたり、関係機関・関係団体の意見を聴き、建築宅地行政の円滑な実施のための情報交換を行いました。今年度は2回開催しました。

10月

2日 被災宅地危険度判定士講習会の開催



被災宅地危険度判定を実施する技術者を養成するため、県内の建築士等を対象に講習会を実施しました。

11月

14日 被災建築物応急危険度判定技術者講習会の開催



被災建築物応急危険度判定を実施する技術者を養成するため、県内の建築士等を対象に講習会を実施しており、今年度は4回開催しました。

12月

末日 防災集団移転促進事業の建築工事可能地区数が約72%に

12月末日時点において、県内の防災集団移転促進事業の建築可能地区数が、約72%になりました。

1月

中旬 気仙沼市舞根1地区の完成



気仙沼市舞根1地区における防災集団移転促進事業の住宅団地20区画が完成し、住宅の建築が進んでいます。

2月

14日 被災建築物応急危険度判定コーディネーター講習会の開催



被災建築物応急危険度判定コーディネーターを養成するため、市町村職員を対象に講習会を開催しました。

3月

住宅課「平成27年度復旧・復興カレンダー」

平成27年4月～平成28年3月

住宅再建相談会を開催

みやぎ復興住宅整備推進会議と独立行政法人住宅金融支援機構の共催により、被災者が自力再建するうえで必要とする融資、資金計画、助成制度、建築相談(プラン、概算工事費等)などの内容にワンストップで対応する相談会が、県内各地で3月まで開催されました。

平成27年4月～平成28年3月

宮城復興住宅マッチングサポート事業の実施

自力再建による住宅建築工事の本格化に伴い発生が危惧される工務店の不足、建築職人の不足、建築資材の不足に対し、情報の共有と資材、職人等の融通を図り、被災された方の円滑な住宅再建を促すことを目的とした事業を実施しました。
今年度は約25件の申し込みがあり、約15件のマッチングの成立がありました。

11, 12日

「住まいの耐震博覧会 すまい元気フェア」

のイベントに職員を派遣

夢メッセみやぎで行われた、民間会社主催の住まいに関する情報を発信するイベントに、職員を派遣し、二重ローン補助などの住宅再建支援制度や各種住宅施策等についての相談に対応しました。



19日 災害公営住宅の被災者以外の入居に係る対応方針の策定

災害公営住宅の空き住戸対策として、国の見解を受け、市町と協議し、策定しました。

29日 「住宅再建まるごと相談会」に職員を派遣



南三陸町で行われた、宮城県や東北財務局などが主催する相談会に職員を派遣し、県の住宅再建支援制度や各種住宅施策等についての相談に対応しました。

3月 住宅供給会社の災害公営住宅等市町営住宅管理受託の県の認可

平成28年4月から管理開始する2町及び管理を更新する5市町の管理受託を認可しました。
(平成28年4月における受託市町は計11市町)

平成27年4月～平成28年3月

住宅再建支援事業(二重ローン対策)の実施

被災された方々が自ら住宅を再建する際に生じる二重ローンの負担を軽減するため、既存住宅債務に係る5年間の利子相当額(上限50万円)を今年度は約60件補助しました。

4日 第1回みやぎ復興住宅整備推進会議を開催

住宅・まちづくりに関する情報を関係機関で共有し、全国のモデルとなる復興住宅整備を目指します。今年度第1回目となる会議を開催しました。(今年度は計3回開催)



24日 県営住宅ストックマネジメントの推進

石巻吉野住宅昇降機改修工事に着手しました。また、岩沼亀塚住宅(A-1・A-2号棟)外壁等改修工事、名取田高住宅(1・4・5号棟)受水槽取替工事など順次着手し、完成しました。

21日 みやぎ復興住宅フォーラムを開催

震災から5年目の節目の年度に当たり、復旧・復興がどこまで進んでいるのか、また今に至るまでにどのような取組が行われてきたのかを県民・全国へお伝えするために「みやぎ復興住宅フォーラム」を開催しました。



フォーラムでは「住まい」の復興に焦点をしばり、東松島市宮戸島のまちづくりに携わった建築家の妹島和世氏と、南三陸町でデザインの力による復興支援活動を行った宮城大学准教授の中田千彦氏を迎え、復興の先にある新しいまちづくりのために、建築に関わるものがどのように取り組んでいくべきか、フォーラムに参加する皆さんも交えて議論を深めました。

フォーラムと同時に会場出入口付近でパネル展示を開催し、みやぎ復興住宅モデルプランや住まいの復興に関する各団体の取り組みの紹介等を行いました。

当日は、古川工業高校建築学科の生徒を含め、約390人の参加がありました。

16日 第27回復興住宅市町村連絡調整会議を開催

災害公営住宅の管理に関する留意事項や事例紹介等、各市町の管理担当者や情報共有が図られました。(今年度は計5回開催)

第27回会議では、災害公営住宅の被災者以外の入居について、また、一般公募の際の仮設住宅入居者に対する優先入居制度の活用について各市町への周知を図りました。

復興住宅整備室「平成27年度復旧・復興カレンダー」

17日 南三陸町志津川西地区災害公営住宅

新築工事着工

南三陸町志津川西地区では、RC造74戸、木造8戸の整備が予定されています。そのうち、74戸について着工しました。

20日 石巻市黄金浜北地区災害公営住宅

新築工事完成引き渡し

石巻市黄金浜北地区で整備を進めていた災害公営住宅が完成し、引き渡しが行われました。完成した住宅92戸で入居が始まっています。



5日 塩竈市北浜地区(第1期)災害公営住宅

新築工事着工

塩竈市北浜地区では、RC造60戸の整備が予定されています。そのうち、第1期工事31戸について着工しました。

1日 七ヶ浜町花洲浜地区災害公営住宅

新築工事完成引き渡し

七ヶ浜町花洲浜地区で整備を進めていた災害公営住宅が完成し、引き渡しが行われました。完成した住宅50戸で入居が始まっています。



27日 南三陸町伊里前地区災害公営住宅

新築工事完成引き渡し

南三陸町伊里前地区で整備を進めていた災害公営住宅が完成し、引き渡しが行われました。完成した住宅50戸で入居が始まっています。



2月24日、3月30日 石巻市新蛇田南地区

災害公営住宅(A・B街区)新築工事完成引き渡し

石巻市新蛇田南地区(A・B街区)で整備を進めていた災害公営住宅が完成し、引き渡しが行われました。完成した住宅327戸で入居が始まっています。



11日 石巻市新沼地区災害公営住宅

新築工事完成引き渡し

石巻市新沼地区で整備を進めていた災害公営住宅が完成し、引き渡しが行われました。完成した住宅29戸で入居が始まっています。



4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

15日、31日 石巻市新蛇田地区災害公営住宅

(B・C街区)新築工事完成引き渡し

石巻市新蛇田地区(B・C街区)で整備を進めていた災害公営住宅が完成し、引き渡しが行われました。完成した住宅180戸で入居が始まっています。



9月17日、10月9日 七ヶ浜町菖蒲田浜地区

災害公営住宅新築工事完成引き渡し

七ヶ浜町菖蒲田浜地区で整備を進めていた災害公営住宅が完成し、引き渡しが行われました。10月17日には入居者への鍵引渡式が行われ、100戸で入居が始まっています。



9日 七ヶ浜町代ヶ崎浜地区災害公営住宅

新築工事完成引き渡し

七ヶ浜町代ヶ崎浜地区で整備を進めていた災害公営住宅が完成し、引き渡しが行われました。完成した住宅24戸で入居が始まっています。この地区をもって七ヶ浜町の災害公営住宅は全戸完成しました。



24日 南三陸町戸倉地区災害公営住宅

新築工事完成引き渡し

南三陸町伊里前地区で整備を進めていた災害公営住宅が完成し、引き渡しが行われました。完成した住宅50戸で入居が始まっています。



11日 石巻市筒場地区災害公営住宅

新築工事完成引き渡し

石巻市筒場地区で整備を進めていた災害公営住宅が完成し、引き渡しが行われました。完成した住宅43戸で入居が始まっています。



17日、23日 石巻市新蛇田地区災害公営住宅

(A-2・D街区)新築工事完成引き渡し

石巻市新蛇田地区(A-2・D街区)で整備を進めていた災害公営住宅が完成し、引き渡しが行われました。完成した住宅153戸で入居が始まっています。



営繕課 「平成27年度復旧・復興カレンダー」

平成27年7月17日

拓桃医療療育センター・拓桃支援学校新築工事完成

老朽化した拓桃医療療育センターの改築に伴い、同センター及び教育機関としての拓桃支援学校とを併せて、宮城県立こども病院の敷地内に整備する工事が7月17日に完成しました。



平成27年10月6日

名取高校舎改築工事(その1)(その2) 着工

昭和38年から41年に建築された本校舎は、老朽化が著しいことから、今般、建て替えを行う名取高校舎改築工事(その1)(その2)の請負契約が平成27年10月5日に9月議会で議決され、これから工事の着工に向けて動き出します。



平成28年12月松島自然の改築工事(第1期) 着工

大震災で被災した松島自然の家の施設を東松島市宮戸地区へ移転し整備する事業のうち、フィールド施設等の第1期工事が平成27年12月に着工しました。完成は平成28年9月の予定です。



平成28年2月8日

東部地区支援学校高等学園校舎改築工事 完成

軽度知的障害生徒の後期中等教育施設として、旧女川高校解体跡地で進められてきた東部地区支援学校 高等学園新築工事が2月8日に完成しました。



平成28年3月4日

気仙沼警察署庁舎新築工事 完成

気仙沼市赤岩杉の沢地内(旧鼎が浦高校跡地)に建設が進められてきた気仙沼警察署庁舎新庁舎が同地内に建設予定の合同庁舎に先行する形で3月4日に完成しました。



平成27年10月26日

水産技術総合センター種苗生産施設新築工事完成

大震災で被災した種苗生産施設を石巻市谷川浜から七ヶ浜町松ヶ浜漁港背後地へ移転再整備する工事が平成27年10月26日に完成しました。



平成27年12月18日 旧南三陸町防災対策庁舎 応急修理調査設計業務 着手(技術協力)

震災遺構として永久保存すべきかどうかの可否を、所有権を県に移転した上で今後約15年の時間を掛けて検討するために、旧南三陸町防災対策庁舎応急修理調査設計業務(地域復興支援課発注、営繕課技術協力)が12月18日に委託契約され、調査業務が開始しました。

9月18日 登米総合産業弓道場ほか1件新築工事 着工 & 10月22日 登米総合産業高グランド整備工事 着工 平成28年5月、6月 各工事 完成予定

産業の高度化、多様化に伴い複数の専門分野の知識や技術を合わせ持つ人材の育成を目的に上沼高・米山高・米谷工高の3校と登米高商業科の1学科を再編し、農業・機械・電気・情報技術・商業・福祉の6学科の職業系専門学科を統合した県内初の総合産業高校の建設事業のうち、最後に残った弓道場等及びグランド整備工事が6月までに完成し、総合産業高校として本格始動する予定です。



平成28年2月18日 石巻合同庁舎新築工事 & 気仙沼合同庁舎新築工事着工

震災による津波で被災した石巻合同庁舎及び気仙沼合同庁舎の移転・新築事業の各工事の契約が2月17日に2月議会で議決され、これから工事の着工に向けて動き出します。



平成28年3月22日 農業高改築工事(その1)(その2)(その3) 事業スタート

3月22日農業高改築工事(その1)(その2)(その3)の仮契約が成立し、事業がスタートしました。平成28年6月定例会の議決により正式に着工の運びとなります。



設備課「平成27年度復旧・復興カレンダー」

9日 産業技術総合センター排ガス処理システム改修 竣工



産業技術総合センターにて、実験などで有害な気体が発生するときや、揮発性の有害物質を取り扱うとき等に安全のために用いる局所排気装置のドラフトチャンパーの更新を行いました。

30日 設備部門別専門研修(拓桃館視察)

こども病院・拓桃館が完成したことにより、土木部職員研修で施設の視察を行いました。免震構造なので、免震ピット内での設備施工状況や病院運用開始前にしかみられない特殊な設備等を見学しました。



11日 気仙沼保健福祉事務所太陽光 竣工



グリーンニューディール基金を用いて太陽光発電設備を導入しました。これにより停電時において防災用分電盤から緊急対策や県民情報発信のための電力供給が可能となりました。

30日 蔵王レストハウスサイレン 竣工

蔵王山の火山活動の活発化に伴い、噴火警戒区域に隣接している蔵王レストハウス周辺の観光客に避難を促すための、サイレン・スピーカーを設置しました。サイレンは約2km、スピーカーは約500m先まで音が届きます。



27日 設備講座(設備の維持管理)



アセットマネジメントの導入、長寿命化計画策定及び設備更新の事例等について、講義や現場見学により土木部職員研修を実施しました。

4日 気仙沼警察署 竣工

震災で被災した気仙沼警察署は、震災以降は仮設庁舎で運営を行ってきました。新気仙沼警察署は従来設備と比較検討し、給湯設備にはエコキュート、照明は全室にLEDを採用する等、環境及びコストに配慮した設備となっています。



4月
5月
6月
7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

24日 こども病院拓桃館(拓桃医療療育センター)竣工



老朽化した「拓桃医療療育センター」を、こども病院と一体的に機能連携させるよう「こども病院拓桃館」として移転整備しました。拓桃館及び既存こども病院の発電機が相互バックアップ可能などの特徴があります。

31日 水産技術総合センター公開実験棟 竣工



「水産加工公開実験棟」は、東日本大震災により全壊したものの、本県水産業の復興に向け、関連企業とともに商品開発や販路開拓を推進していくための拠点として、再建しました。下水区域外の地区であったため浄化槽を設置しております。

26日 水産技術総合センター種苗生産施設 竣工



震災で被災した水産技術総合センター種苗生産施設は、七ヶ浜町に場所を移して新築しました。アワビ等の種苗育成のための水槽は大小様々なものを設置し、水温調整のための温水・冷却器や、空気を送るためのブローを設置する等、育成状況に対応した水環境を整える設備となっています。

30日 気仙沼水産試験場 竣工



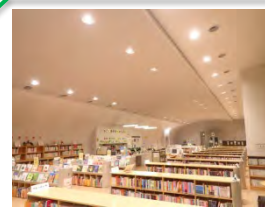
「気仙沼水産試験場」は、東日本大震災により全壊したものの、本県水産業の復興に向け、養殖技術の指導・支援や漁場環境調査の拠点として、再建しました。

26日 東部地区支援学校 竣工



女川高校跡地に新設された軽度知的障害生徒の後期中等教育施設。卒業後の職業自立を行える場として整備されました。

11日 図書館照明改修 竣工



みやぎ環境税を活用し図書館の照明をLED化しました。これにより消費電力の抑制及び二酸化炭素の削減を図っています。トイレには人感センサー、窓側照明には照度センサーを設置しました。

大河原土木事務所「平成27年度復旧・復興カレンダー」

12日 白石川復興パネル展示



大河原桜まつり開催に合わせて白石川右岸で、スマイルリバーサポーターとともにイベントを実施し、県では東日本大震災の復旧状況等のパネル展示を行いました。

12日 6.12総合防災訓練



「みやぎ県民防災の日」(6月12日)に合わせ、大規模地震などに備えるため、県庁や合同庁舎の関係機関と連携した総合防災訓練を実施しました。

17日 天皇后両陛下 蔵王町御訪問

22日 蔵王エコライン開通



6月16日の蔵王山火口周辺警報の解除に伴い、速やかに県道白石上山線の道路付属施設を復旧し、蔵王エコラインの開通式が行われました。

7日 道路クリーンキャンペーン



「道路ふれあい月間」の一環として、宮城県建設業協会山南支部とともに管内の道路において清掃活動を行い、約175kgのゴミを回収しました。

10月16日～11月6日内陸土木・地域事務所合同研修会



東部土木事務所登米地域事務所と合同で、「見て・感じて・学ぶ沿岸被災地復旧・復興研修会」を実施しました。

28日 平成26年災 白石川災害復旧工事全完成



平成26年7月の梅雨前線豪雨及び台風8号で被災した白石川災害復旧工事の全6工区の工事が完成しました。

5日 スマイルサポーター意見交換会



スマイルサポーターの皆様との意見交換会を開催しました。日頃の活動状況や意見をお聞きする貴重な機会となりました。

13日 蔵王山に火口周辺警報が発令



4月13日、仙台管区気象台から蔵王山の火口周辺警報が発令され、火口から概ね1.2kmの範囲が立入規制となりました。

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

3日～11日 土砂災害防止月間パトロール



土砂災害防止月間に合わせて、市町の職員や砂防ボランティアの方々とともに、管内2市7町の土砂災害危険箇所のパトロールを実施しました。

17日 一般県道青根蔵王線開通



平成25年10月の台風26号で発生した土砂崩れにより約1kmにわたり通行止めとなっていた県道青根蔵王線が開通しました。

28日 白石市八宮自治会にて出前講座



白石市八宮自治会約35名を対象に、土砂災害防止法の出前講座を実施し、防災についての認識を深めました。

6日～11日 関東・東北豪雨災害発生

丸森町筆甫で6日～11日までの総雨量573mmを記録。河川・道路に甚大な被害が発生しました。

11月16日～12月18日 平成27年災 災害査定



9月の豪雨災害に対する公共土木施設災害復旧事業の現地査定が行われ、河川156箇所、道路15箇所、15億4千万円の決定を受けました。

23～24日 基礎調査結果住民説明会



土砂災害警戒区域等の指定促進に向けて、土砂災害危険箇所に関する基礎調査の結果について、村田町及び柴田町で住民説明会を実施しました。

19日 白石川河川清掃



白石川において、4月のさくらまつりに向けて、大河原町、柴田町それぞれで、町や地域住民の方々と協力して河川清掃活動を行いました。

仙台土木事務所「平成27年度復旧・復興カレンダー」

19日【復興】増田川(広浦)築堤護岸工事
用地説明会(31名共有地)を開催

22日【復興】砂押川築堤工事説明会を開催

6日 川内沢川放水路竣工式を開催



事業着手から約20年の歳月をかけた川内沢川放水路が完成したことから、竣工式を行いました。来賓として西村国土交通副大臣、中野参議院議員をはじめ県議会議員、地元選出の県議会議員、地元関係者など約100名の方々に出席いただきました。

22日【復興】(都)八幡築港線・築港大通線
進捗説明会を開催

1日【復興】塩竈市港町地区復興事業

進捗状況説明会を開催

2日 (都)八幡築港線芦畔工区4車線供用開始

(都)八幡築港線芦畔工区600mが4車線供用開始しました。



8日【復旧】七北田川災害復旧 蒲生地区
用地説明会(日和山共有地等)を開催

25日【復興】(主)相馬互理線復興道路
用地契約会を開催

1日 (主)泉塩釜線南宮工区4車線供用開始

多賀城ICアクセス道路の(主)泉塩釜線が4車線供用開始しました。



28日【復興】(都)山下駅前線山下駅前道路
用地契約会を開催

19日【復興】貞山運河「桜植樹」を開催



多賀城市貞山公園を会場に桜植樹を開催しました。

21日 (主)塩釜互理線増田道路全線供用開始

4月

12日 梅田川・藤川河川愛護会
早朝一斉清掃への参加

25日 広瀬川1万人プロジェクトの開催



一般市民1,003名が参加し、河川清掃を行いました。

5月

6月

26日【復興】岩沼海浜緑地避難道路
用地説明会を開催

7月

10日【復興】(主)塩釜互理線閉上道路
事業説明会を開催

5日 みやぎふれあいパークプログラムサポーター
認定証交付式を開催



宮城県総合運動公園のふれあいサポーターを認証しました。

8月

9月

12日 (主)岩沼蔵王線大師・姥ヶ懐道路
用地説明会(47名共有地)を開催

29日【復興】(主)相馬互理線復興道路
用地説明会を開催



(主)相馬互理線復興道路事業による用地買収のスケジュール等について説明会を開催しました。

10月

11月

11月16日～12月18日 平成27年災 災害査定

平成27年9月9日から11日にかけての関東・東北豪雨により、管内北部の黒川郡、仙台市泉区を中心に甚大な被害が発生し、現地査定の結果95箇所、約48億円が決定しました。



12月

1月

18日 (主)仙台三本木線落合相川交差点改良
供用開始

5日【復興】(主)塩釜互理線閉上道路
用地説明会を開催

5日【復興】仙台湾南部海岸完成式を開催



平成28年3月現在、直轄施工区間約29kmの9割以上が完成し、平成28年度内に完成予定となったことから完成式を行い、直轄代行区間の引き受けを行いました。

2月

3月

北部土木事務所 「平成27年度復旧・復興カレンダー」

19日 田尻川、鶴田川改修促進期成同盟会 解散総会

河川の改修を促進するため、田尻川では昭和24年に前身の江合川左岸排水路改修期成同盟会が組織され昭和29年に改称し田尻川総合改修期成同盟会として、鶴田川では昭和33年に鶴田川改修促進期成同盟会としてそれぞれ要望活動をしてきました。このたび、上流から下流まで全流域を対象として要望活動が行えるよう、発展的な解散をすることとなりました。

29日 (都)並柳福浦線用地説明会を実施

大崎市古川三日町地区において、並柳福浦線都市計画街路事業の用地説明会を開催しました。

25日 小島交通安全施設設置事業の用地説明会を実施

(主)石巻鹿島台大衝線大崎市鹿島台小島地区において、歩道設置のための用地説明会を開催しました。

15日 (主)古川登米線大貫用地説明会を実施

大崎市田尻大貫地区においては昨年事業説明会を実施し、賛意を得ていました。今回は用地立会に先立ち、用地説明会を開催しました。



6日 百々川排水機場(電気設備外工事)安全祈願祭

大崎市田尻百々地区において、安全祈願祭が開催され工事の安全と早期完成を願いました。



21日 花洲山バイパス 開通記念イベントの開催



「鳴子小学校と鬼首小学校の全児童103名による現場見学会、手形残し、タイムカプセル埋設会を開催しました。

15日 国道108号花洲山バイパス開通式

昭和63年度に事業着手した花洲山バイパスは、平成20年度から直轄代行事業として国土交通省により事業が進められてきました。開通により、災害に強く、安全安心で快適な交通が確保され、宮城・秋田両県の連携強化と交流促進により地域の産業経済の活性化や観光振興が期待されます。



12日 (主)古川松山線志田橋開通式

県道4路線が集中する交通結末点の主要地方道古川松山線志田橋は、老朽化が著しく、線形改良、歩行者の安全確保等を図るため事業を進めておりましたが橋梁の建設工事を終え、このたび開通しました。



27日 江合・鳴瀬・吉田川水系改修促進期成同盟会 設立総会

江合川、鳴瀬川、吉田川の全流域の改修促進要望活動が行えるよう、「江合・鳴瀬・吉田川直轄改修促進期成同盟会」は、「田尻川総合改修促進期成同盟会」、「吉田川改修期成同盟会」、「鶴田川改修期成同盟会」を統合し「江合・鳴瀬・吉田川水系改修促進期成同盟会」として名称変更をしました。

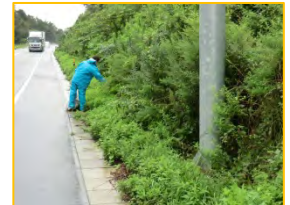
1～8日 土砂災害防止月間 危険箇所パトロール



土砂災害防止月間に合わせて市町の職員や砂防ボランティアの方々と管内一市三町の土砂災害危険箇所25箇所のパトロールを実施しました。

26日 道路ふれあい月間クリーンキャンペーン

道路ふれあい月間において、(主)仙台三本木線や(主)石巻鹿島台大衝線においてごみ拾い等を行いました。またふれあい月間に賛同する宮城県建設業協会大崎支部32社が清掃等の活動を実施しました。



9月10日～11日 平成27年関東・東北豪雨により堤防決壊等による被害が発生

9月8日昼から9月11日昼にかけて雨が降り続き、線状降水帯が形成され大雨となった。9月11日3時20分には宮城県に東北初の大雨特別警報が発令され、古川気象観測所では24時間雨量197mmが記録された。この豪雨により渋井川、渋川、名蓋川等河川堤防の決壊などで多くの浸水被害が発生し、市民生活に甚大な影響を及ぼしました。



破堤した渋井川

11月16日～12月18日 災害査定(第2次から第6次)

平成27年関東・東北豪雨により被災した公共土木施設災害復旧事業の現地査定が行われました。この災害査定により166件約51億円が復旧経費として認められました。

国道347号 通年通行化工事が進む

国道347号の通年通行化の進捗状況は、12月までに延長11kmのうち道路改良区間延長5.0km、斜面对策区間延長3.2km計8.2kmが完了しました。現在も工事進捗中です。



1日 スマイルサポーター意見交換会

管内ではスマイルロードサポーター27団体、スマイルリバーサポーター7団体が活動を行っています。意見交換会では14団体が参加し、日ごろの活動状況や活動内容について、活発な情報交換が行われました。



4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

北部土木事務所 栗原地域事務所事務所 「平成27年度復旧・復興カレンダー」

4月26日 冬期通行止め開通

国道398号開通式



国道398号、主要地方道築館栗駒公園線、一般県道岩入一迫線の冬期閉鎖区間を開通しました。国道398号では栗原市と秋田建湯沢市の共催により開通式が開催されました。

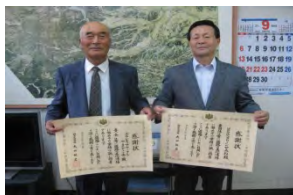
7月23日 みやぎ県北高速幹線道路(築館工区)
安全祈願祭を実施



みやぎ県北高速幹線道路(築館工区)の延長約1.7km区間における工事の本格的着工に先立ち、安全祈願祭が開催されました。

9月7日 道路愛護等に係る

大臣表彰伝達式



道路愛護等に携わっている2団体の活動に対しまして国土交通大臣表彰があり、その伝達式を行いました。両団体はスマイルロードサポーターとしても活躍されています。



関東東北豪雨により流失した、主要地方道栗駒岩出山線熊川橋について被災から1ヶ月で仮橋を含む迂回道路工事を完成し供用しました。

10月15日 熊川橋の迂回道路工事が完成
熊川橋仮橋開通

11月16日～12月18日

関東・東北豪雨災害査定



9月9日から9月11日にかけて発生した関東東北豪雨により被災した公共土木施設の災害査定を受け、157件約22億円の査定決定を受けました。被災箇所については早期復旧に向けて取り組んでいます。

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

6月14日 栗原市総合防災訓練への参加



「平成20年岩手・宮城内陸地震」の経験と記憶を後世に伝え、また、大規模自然災害の発生に備え、被害の未然防止と軽減を図ることを目的とし、栗原市で実施した防災訓練に栗原地域事務所も参加しました。今後も市と連携しながら栗原地域の防災に努めて参ります。

7月30日 みやぎ県北幹線道路(築館工区)
全事業区間の計画同意



みやぎ県北高速幹線道路(築館工区)の計画への未同意区間に関して説明会を実施し、計画について地元の同意を得ました。

8月10日 道路ふれあいクリーンキャンペーンを実施



栗原地域事務所と宮城県建設業協会栗原支部の共同で実施し、約80名が参加して、管内の道路清掃を実施しました。

8月21日～9月7日 建築防災週間に係る防災査察



火災発生防止を目的に、農家民宿などの簡易宿所を対象に7件の防災査察を実施しました。防災査察は栗原市消防署と合同で行い、建築物の維持保全の状況や、防火・避難施設の設置状況、設備機器の作動の状況などを確認し違反者には是正指導をしました。



岩手・宮城内陸地震に伴う土砂災害で被災した耕英東地区において、地域住民や関係団体及び官庁により組織された「くりま絆の森植樹プロジェクト」による植樹活動が実施されました。この取り組みは、失われた緑地の再生と堆積した土砂の流出防止を図ることを目的としたもので約60名が参加しました。

10月21日 くりま絆の森
植樹プロジェクトを実施



北部土木事務所栗原地域事務所でスマイルサポーターとの意見交換会を実施しました。今後の道路及び河川管理に活かしていける意見等が数多く出され、お互いにとって有意義な場となりました。

2月18日 スマイルサポーターとの
意見交換会を実施

東部土木事務所「平成27年度復旧・復興カレンダー」

23日 南北上運河外河川災害復旧工事(その1)



安全祈願祭

南北上運河及び北上運河の復旧工事を施工者主催により地元県議及び東松島、石巻市両市長出席のもと安全を祈願しました。

7日, 14日, 22日 管内市町との災害復旧・復興連絡調整会議



復旧・復興事業を円滑に推進するための情報共有と事業調整を行うため、管内市町と災害復旧・復興連絡調整会議を開催しました。

4日 立町二丁目5番地区市街地再開発事業地鎮祭
2, 3日 自治法派遣職員継続要請



復旧・復興事業のマンパワー不足を補うため、引き続き継続した職員の派遣について群馬及び埼玉両県を訪問し要請してきました。

5日 (一)石巻女川インター線 開通式



2日 石巻工業高校の現場見学会



古川工業高校の土木情報科1年生から3年生の生徒と先生方が管内における災害復旧工事や復興まちづくり事業の現場を見学しました。

3日 石巻市まちびらき(新蛇田地区)

3日 事業説明会(大瓜BP事業認定)

16日 事業説明会(復興道路小網倉事業認定)

28日 大震災復興調査特別委員会 管内調査

21日 安倍総理大臣管内視察(石巻市・女川町)



24日 中津山道路改良事業 BP開通式



7日 第4回女川町「出島架橋」連絡調整会議

27日 定川河川災害復旧工事(その4)安全祈願祭

3日 定川河川災害復旧工事(その4)説明会

10日 (一)河南北郷線 軽井沢道路改良事業説明会

16日 雄勝復興道路事業説明会

25日 野蒜地区災害復旧事業説明会

30日 西沢川河川改修事業説明会

9日 出前講座(石巻工業高校)

17日 (都)矢本門脇線用地説明会(大曲地区)

27日 (都)門脇流留線用地説明会

6日 (都)矢本門脇線用地契約会(大曲地区)

10日 長石地先海岸工事説明会

24日 谷川浜復興道路事業・用地説明会

14日 高木復興大臣管内視察(石巻市・東松島市)



5日 東待浜海岸災害復旧工事 竣工式



12日 石巻市市街地復興工事調整会議

17日 復興まちづくり事業 現場研修会



気仙沼土木事務所管内の各復興まちづくり事業について、課題やその解決方法など、現場を通じ説明を頂きながら、職員の知識を広げる目的で開催しました。

23日 おながわ復興まちびらき 2016冬 式典

9日 平成27年度東北河川技術研修(州崎海岸)

5, 18日 飯子浜復興道路用地説明会

26日 女川復興復興祭 2016

26日 JR仙石線 あゆみ野駅開業

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

3月

東部土木事務所登米地域事務所 「平成27年度復旧・復興カレンダー」

12日 6.12総合防災訓練

6月12日は金曜日で、道路管理業者は道路パトロールを実施する日であったことから、道路パトロール現場から直接訓練に参加するなど、本番さながらの訓練となり、参加した関係機関や職員など皆が真剣に取り組み、短い時間ではありましたが、災害発生時における初動体制の確認を行うことができました。



13日 平成27年度迫川流域水防管理者・農業用水管理者協議会総会

迫川流域沿岸の洪水に対する共通認識のもと、迫川流域における治水及び健全な農業経営に資するため、洪水その他の災害発生の恐れがある場合における農業用の排水施設等の操作と水防活動について意見交換を行った。



平成23年3月発生東北地方太平洋沖地震により

河川堤防が甚大な被害を受けたことから、水防警報を暫定運用していましたが、河川堤防の復旧が完了し、堤防としての機能が震災前と同等に回復したため、平成27年4月1日付けで水防警報の水位を通常基準に戻したことを受け、排水調整においても、同日付で暫定運用前の水位に戻すことを報告しました。

7日 平成27年度ロードクリーンキャンペーン



職員25人で、主要地方道古川登米線約400mの区間(「道の駅みなみかた」付近)の歩道清掃等を行いました。
また、日頃から道路美化活動を実施されているスマイルロードサポーターのうち8団体も、この日に合わせてそれぞれの認定区間で清掃等を行いました。

27日 平成27年度 第1回長沼ダム利活用会議



長沼ダムは、平成26年度から管理に移行しました。建設時に培われた地域活性化に関連する取り組みを継承しつつ、新たな地域活性化を推進するため、長沼ダムに関係する地域の代表や行政が一堂に会して、情報の共有や新たな取り組み、問題の解決などを話し合う場として長沼ダム利活用会議を開催しました。

13日 みやぎ県北高速幹線道路

みやぎ県北高速幹線道路は、東北自動車道と三陸沿岸道路を東西に結びつけ、県北各地域の相互連携を強化する地域高規格道路であり、被災地の復興支援や災害時における救援物資輸送等を担う復興支援道路として位置づけられ、東日本大震災からの復興に向けたリーディングプロジェクトであります。



中田工区については、軟弱地盤対策や道路盛土工事を実施しております。佐沼工区については、5月中旬から6月下旬にかけて、用地境界確認作業を行い、12月8日から用地説明会を開催し、引き続き、用地契約会を1月13日から開催し、多くの方々の御協力を頂き、用地買収を進めております。

佐沼工区用地契約会

21日 平成27年度管内河川及び

ダム管理施設操作研修会



登米管内の河川・ダム管理施設は、蕪栗沼遊水地関連と荒川関連、長沼ダム関連と大きく3つに区分され、今後、出水期を向かえることから、その特性に応じた操作研修を開催しました。

蕪栗沼遊水地では、はん濫注意水位5.80mになった場合

の各施設の操作などについて説明がありました。

荒川では、仮屋水門及びポンプの操作と十五丁排水機場の操作方法について、長沼ダムでは、ダム管理事務所内と長沼水門の施設の説明がありました。

6日 平成27年度 迫川流域

河川・ダム管理担当事務所連絡調整会議

迫川は、上流域に花山ダム、栗駒ダム、荒砥沢ダム、小田ダムのダム群が配置され、更に、中流域には、長沼ダム、南谷地遊水地があり、5ダム1遊水地により洪水調節を行い、台風などの大雨による洪水から流域を守っています。これらの施設を有効に機能させるには、各施設の適切な管理と連携した運用による、流域の一体的な管理が重要です。



また、これらの施設を踏まえた計画的な河川整備を進める必要があることから、本会議において、より良い施設管理と河川整備について勉強並びに意見交換を行いました。(第2回開催状況)

20日 迫川フェスティバル'15



第26回長沼レガッタ会場において、迫川改修の歴史や長沼ダムの効果などを県民に広く知っていただくため、長沼ダムの機能を説明するビデオの上映や迫川改修などのパネル展示を行いました。

また、長沼ダムのネーミングライツを取得しているパシフィックコンサルタンツ株式会社と協働で、「ダムと水環境に関するクイズ」を実施し、子供たちの長沼ダムへの関心を深めるとともに、長沼ダムの水環境の状況について知っていただきました。

4日 スマイルサポーター意見交換会

登米地域で県が管理する河川や道路の美化活動に取り組んでいただいているスマイルサポーター団体の皆様の意見交換会を開催しました。
意見交換では、各団体の皆様から活動に際しての工夫や困っている点、活動の中で気づいた点などについて、有意義なお話をいただきました。



23~25日 土砂災害危険箇所基礎調査結果説明会



大雨や地震等によって土砂崩れや土石流などの土砂災害が発生するおそれのある「土砂災害危険箇所」は、登米市内に684箇所存在します。

このため、住民の生命と財産を守ることを目的とする土砂災害防止法に基づき「土砂災害警戒区域」を指定しています。平成27

年度は、16箇所を新たに指定し、登米管内では計345箇所が「土砂災害警戒区域」として指定されました。本年度は、11月19日と2月23日~25日に説明会を開催しました。

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

気仙沼土木事務所「平成27年度復旧・復興カレンダー」

5月10日 磯草地区における大島架橋事業及び海岸保全施設(防潮堤)整備事業に関する意見交換会を開催



大島の磯草地区住民を対象に、県事業について説明し、意見交換を実施しました。

6月6日 第1回大島浦の浜・磯草地区復興懇談会を開催



懇談会は、大島の玄関口である浦の浜地区、磯草地区の早期復興に向け、県及び市が計画している復旧・復興事業に関して、会員、県、市の合意形成に向けた協議を行うことを目的に設置したものです。第2回(7月11日)、第3回(9月5日)、第4回(11月3日)、第5回(12月5日)で協議した内容を基本に事業を進めていくことになりました。

6月9日 東舞根復興道路一部供用開始



平成27年6月に東舞根復興道路の一部区間を供用開始しました。

8月6日 ドーロ・クリーン大作戦実施

「道路ふれあい月間」の活動として、気仙沼土木事務所の管理道路の環境美化及び不法投棄防止の啓発を目的として、「平成27年度ドーロ・クリーン大作戦」を、宮城県建設業協会気仙沼支部と共催で、各自治会道路保護組合、スマイルサポーター及び気仙沼市の方の参加を頂き、官民協働の取組として実施しました。



10月30日 磯草長生クラブ 工事現場見学会を開催



大島側で実施していたトンネル工事及び架橋本体工事の見学会を開催し、約30名の参加者が集まりました。

4月

4月16日 ドーロクリーン作戦大島地区実施

気仙沼土木事務所が管理する道路の環境美化と不法投棄防止の啓発を目的とした『平成27年度ドーロクリーン作戦』を、4月20日(日)に大島で開催される“気仙沼つばきマラソン”にあわせて、マラソンコースの一部となる一般県道大島線の約7km区間において実施しました。



5月

6月

7月

7月11日 大島架橋促進協議会現場見学会を開催

大島側で実施していたトンネル工事及び架橋本体工事の見学会を開催し、約180名の参加者が集まりました。



7月27日 鹿折大橋橋梁耐震補強工事了

(主)気仙沼陸前高田線 鹿折大橋の耐震補強工事が完了しました。



8月

9月

10月2日 戸倉復興道路一部供用開始

10月2日に南三陸町戸倉地区において、国道398号戸倉復興道路を一部供用開始しました。



一部供用開始直後の状況

10月

気仙沼土木事務所「平成27年度復旧・復興カレンダー」

<大島架橋建設事業 完成工事>

- 12月10日 磯草トンネル本体工事 完成 写真1
- 12月25日 浪板道路改良工事(その1) 完成 写真2
- 3月10日 大浦道路改良工事 完成 写真3
- 3月17日 浪板道路改良工事(その2) 完成 写真4



写真1



写真2



写真3



写真4

11月

<復旧・復興まちづくりパネル展>

「海の市」協力の下、復旧・復興まちづくりパネル展を開催しました。
夏期:8月1日～8月31日、春期:2月17日～3月15日



11月27日鹿折地区大島架橋推進懇話会員見学会を開催

本土側で実施している大島架橋本体工事(橋台工)等の見学会を開催し、約20名の参加者が集まりました。



12月

12月20日 海岸保全施設(防潮堤)整備事業及び大島架橋事業に関する意見交換会を開催



大島の磯草・浦の浜地区住民を対象に、大島浦の浜・磯草地区復興懇話会の結果を踏まえ、事業説明及び意見交換を実施しました。

12月25日(主)気仙沼陸前高田線災害防除工事完了

(主)気仙沼陸前高田線における災害防除対策箇所での工事が完了しました。



1月

1月7日 (国)398号舗装補修工事完了

(国)398号の傷んでいた区間の舗装補修工事が完了しました。



2月3日 新月公民館見学会を開催

本土側で実施している道路改良工事等の見学会を開催し、約20名の参加者が集まりました。



2月

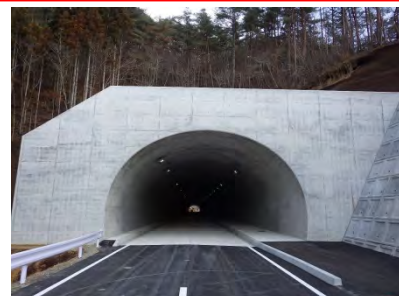
1月21日 荒谷前地区海岸竣工式

平成28年1月6日に荒谷前地区海岸が完成し、1月21日に竣工式を開催しました。(管内第1号)



3月

3月24日 東舞根復興道路供用開始



平成28年3月に東舞根復興道路が完成し、全線供用開始しました。(県内第1号)

仙台塩釜港湾事務所「平成27年度復旧・復興カレンダー」

(仙台港区)

8日 新規コンテナ航路就航(北米航路)

北米西岸の港の後、バンクーバー港から仙台港に寄港し、日本国内他港及び釜山新港を経て北米西岸に戻る航路が就航しました。

この航路は、仙台塩釜港が日本のファーストポートとなる輸入に適した航路です。

これにより外貿コンテナは6航路となりました。



(塩釜港区)

2日 代ヶ崎清水防潮堤災害復旧工事開始

塩釜港区代ヶ崎清水防潮堤の災害復旧工事に着手しました。(施工延長:594.1m)

(仙台港区)

20日 港湾保安総合訓練実施



国際ふ頭での緊急事態時の関係機関の連携や対応能力の向上のため実施しました。

(松島港区)

波打浜護岸外災害復旧工事完了

平成25年度末から着手していた復旧工事が完了しました。



(仙台港区)

16日 新規定期コンテナ航路就航

仙台塩釜港と京浜港を結ぶ国際フィーダー航路が新たに開設されました。

これにより、仙台塩釜港の国際フィーダー航路は、過去最高の9航路となり、国際フィーダーコンテナの取扱量が国内No.1(H26実績)となりました。



(塩釜港区)

貞山ふ頭防潮堤整備工事着手

塩釜港区の工事に着手しました。今後、整備予定箇所についても、関係者の皆様と協議を重ね、整備を加速化してまいります。

4月

(仙台港区)

16日 LNG船第1船が入港

初めてLNG(液化天然ガス)船が入港しました。新仙台火力発電所で建設したLNGを利用した発電施設は、世界最高水準の発電効率を誇り、12月には、2基のうち1基で営業運転を開始しました。

5月

(仙台港区)

大型客船寄港

(飛鳥II, にっぽん丸, ぱしふいつくびいなす)



6月

7月

(仙台港区)

湊浜親水護岸外災害復旧工事完了

平成25年度末から着手していた復旧工事が完了しました。



8月

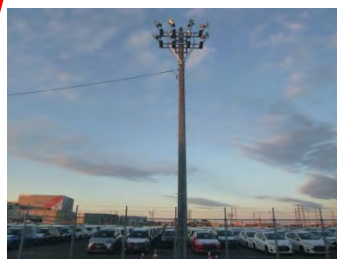
9月

10月

11月

(仙台港区)

雷神荷捌地照明設備設置工事完了



今年度着手していた照明設置工事が完了しました。これにより、夜間等における荷役作業の安全性の向上が期待されます。

12月

1月

2月

3月

(塩釜港区)

吉田浜防波堤外災害復旧工事完了



平成26年度から着手していた復旧工事が完了しました。

石巻港湾事務所「平成27年度復旧・復興カレンダー」

4月

15日 客船「につぼん丸」が石巻に寄港

客船につぼん丸が石巻港区大手埠頭に寄港。震災後4回目の寄港となりました。



5月

5日 最新鋭タグボート「宮城丸」が石巻港に就航

東北唯一の国際拠点港湾・仙台塩釜港の一港として、また国際バルク戦略港湾の連携港として、石巻港に配備され、就航しました。



6月

26日 表浜港災害復旧工事了

表浜港の災害復旧工事が完了した。



7月

8月

26日 石巻雲雀野発電所の起工式開催

日本製紙石巻エネルギーセンター株式会社が建設する石炭・バイオマス混焼火力発電施設(石巻雲雀野発電所)の起工式が、建設予定地である石巻市雲雀野地区で行われました。



9月

27日 女川港横浦地区防波堤災害復旧工事了

女川港横浦地区防波堤災害復旧工事が完了した。



10月

11月

3日 木材加工工場の新築工事に係わる地鎮祭が開催

山大株式会社木材加工工場の建設予定地で地鎮祭が開催されました。



12月

1日 石巻市西浜地区新造船所の地鎮祭が開催

東日本大震災で被災した株式会社鈴木造船所と株式会社海洋技研は、新たに合同会社を設立し、石巻市西浜地区に新造船所を建設することとなりました。



1月

26日 日和埠頭荷捌地災害復旧工事了

日和埠頭荷捌地災害復旧工事が完了した。



2月

15日 石巻工業高等学校生徒による防潮堤工事見学会開催

宮城県建設業協会石巻支部青年会が主催する建設現場見学会が石巻市西浜町の西浜防潮堤災害復旧工事現場で開催されました。



3月

25日 女川みなとびらき・湾口防波堤完成式開催

女川町地方卸売市場東荷捌場特設会場において、女川みなとびらき・湾口防波堤完成式が多くの関係者が参加するなか、盛大に行われました。
津波被災から満5年を迎え、新たな港が完成し、安全・安心が確保され、女川町のより一層の発展が期待されます。



4月

19日 雄勝港浪板地区「波板防潮堤」完成式開催

平成27年3月に着工した雄勝港浪板地区浪板防潮堤災害復旧工事が、平成28年2月に完成しました。これを地域の方々と祝うとともに地域づくりへの思いを共有するため、石巻市と合同で完成式を開催しました。



5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

中南部下水道事務所「平成27年度復旧・復興カレンダー」

4月16日～(隔月) 管路パトロール

4流域の幹線管渠について、職員が直営で管路パトロールを行い、マンホール蓋等の点検を行いました。



5月25日 河川管理者と合同点検

処理場の放流渠など河川占用している施設について、河川管理者と合同で点検を行いました。



9月9～11日 関東東北豪雨及びマンホールからの溢水

台風18号棟による関東東北豪雨により大和浄化センターが冠水し、また仙塩流域、阿武隈川下流流域、吉田川流域の流域幹線マンホールから溢水が発生するなどの被害がありました。



また、吉田川流域の大和大衡ポンプ場では善川の氾濫により非常用自家発電設備が水没し機能不全となりました。このため、仮設の発電機を設置するとともに、早期復旧を図るため災害復旧応急本工事を実施しました。



11月25日 災害査定(3次)

9月の関東東北豪雨により被災した吉田川流域下水道の大和大衡ポンプ場自家発電設備について現地で災害査定が実施されました。



11月27日, 3月15日 仙塩流域溢水対策会議

大雨時におけるマンホールからの溢水が震災復旧後に2度発生していることから、流域関連市町と連携して対策に取り組むため連絡調整会議を開催しました。



3月25日 災害復旧応急本工事完成

9月の関東東北豪雨による冠水で被災した大和大衡ポンプ場非常用自家発電設備の応急本工事が完了しました。



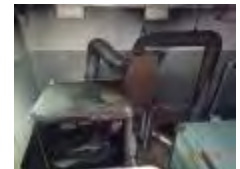
4月13日～ 指定管理者モニタリング(各流域ごと月2回)

4流域下水道の各指定管理者が行う業務について、各流域で月2回の維持管理打合せを行うなど職員がモニタリング(確認、点検)を行いました。



5月30日 大河原ポンプ場火災

大河原ポンプ場において、脱臭ファンから出火し火災となりました。指定管理者の迅速な対応もあり、幸いにも電気設備等の被害はまぬかれポンプの運転は鎮火後直ちに再開することが出来ました。しかし脱臭設備等が損傷したため仮設備を設置しながら復旧に着手しました。



10月22日 県南浄化センター復旧状況視察

神奈川県相模川流域下水道公害対策委員会による現地視察があり、県南浄化センターの東日本大震災の復旧状況について説明しました。



11月27日 大河原ポンプ場火災に伴う復旧工事完了

5月30日に発生した火災により損傷した脱臭設備等について、指定管理者による復旧工事が完了し従前の機能を回復しました。



12月3日 南蒲生浄化センター見学

東日本大震災により大きな被害を受けた仙台市の南蒲生浄化センターについて、復旧工事が一部完成し供用開始したことから、施設の見学をしました。



12月25日, 3月16日 阿武隈川下流流域溢水対策会議

大雨時におけるマンホールからの溢水が震災復旧後に2度発生していることから、流域関連市町と連携して対策に取り組むため連絡調整会議を開催しました。



東部下水道事務所「平成27年度復旧・復興カレンダー」

11日 平成27年9月関東・東北豪雨発生
18日 石巻に大雨警報発令

9月11日には、関東・東北豪雨が発生し県内に甚大な被害を受けましたが事務所の管理流域では、大雨による直接的な被害は発生しませんでした。
9月18日に処理管内で発生した大雨では女川で流入量が急激に増加するなどの対応に追われました。その際には、ポンプの運転台数を増やすことで一次放流をすることなく適切な処理を行いました。



1日 「第6回流域下水道まつり」を開催

石巻浄化センターを会場に第6回流域下水道まつりが開催されました。今回は天候に恵まれたこともあり、例年をはるかに上回る2,215名もの来場者がありました。また、前年度末より運転開始した石巻浄化センター第2系列のパネル展示を行い下水道事業周知に努めました。



22日 石巻浄化センター送風機・汚水ポンプ増設工事完成

前年度から供用開始した水処理2系列に対応するため昨年度から工事が進められていた増設工事が3月22日に石巻浄化センター送風機・汚水ポンプ等電気設備工事の完成をもって関連工事の全てが完了しました。今後も復旧・復興を力強く支えられるよう適切な維持管理に努めていきます。



4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

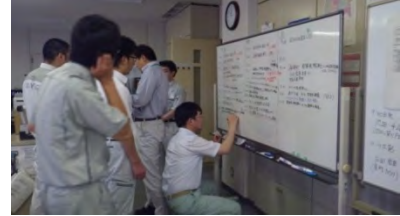
1月

2月

3月

12日 総合防災訓練を実施

「みやぎ県民防災の日」である6月12日に総合防災訓練を実施しました。訓練では、処理場の指定管理者にも参加していただき、より実践的な内容で取り組みました。



16日 JICA下水道研修生が石巻東部浄化センターを来訪

昨年に引き続き、石巻東部浄化センターにJICA「下水道・都市排水」コース施設見学で海外13か国16名の技術者の方々が来訪されました。被災説明や施設見学を行い、復旧内容を理解していただくとともに各国技術者との友好をはかりました。



28日 女川幹線長寿命化工事完成

管内の流域下水道では初となる管渠の長寿命化工事が完成しました。北上川下流東部流域には多数の老朽化した管渠が存在するため、今後も長寿命化計画にのっとり管更正に努めていきます。

17日 石巻浄化センター中央監視設備長寿命化工事完成

プラント施設の中核となる、中央監視設備の長寿命化工事が3月17日に完成しました。既存設備の健全性を確認しながら今後も長寿命化対策を実施し、適切な維持管理に努めていきます。



仙台地方ダム総合事務所

「平成27年度復旧・復興カレンダー」

23日 クレアリア南川ダム湖畔公園等清掃を実施



「七ツ森湖畔公園花祭り」の開催に先駆け、関係機関と協働でクレアリア南川ダム周辺の清掃活動を実施しました。

12日 ダム地震防災訓練を実施

県民防災の日にあわせて、地震防災訓練を実施しました。東日本大震災クラス地震が発生したという想定のもと、点検内容の確認や情報収集伝達訓練を行いました。



2日 水辺クリーンの会スマイルリバーサポーター表彰



水辺クリーンの会は、平成18年度にサポーターに認定され、ダム湖周辺の清掃・美化活動を行うとともに水源環境保全の啓蒙啓発に貢献したことから表彰されました。

24日 仙台環境開発大倉ダム湖周辺清掃を実施



秋の観光シーズンに向け、大倉小学校をはじめとするスマイルサポーターの方々と協働でダム湖周辺の清掃を行いました。

24日 樽水ダム湖周辺清掃を実施



樽水ダムは名取市上水道の水源となっていることから、水源環境保全とその意識啓蒙のため、スマイルサポーターの皆さんと協働してダム湖周辺の清掃活動を実施しました。

25日 川内沢ダム建設予定地横抗調査実施

川内沢ダム建設予定地の地質について詳細に把握するため、横抗の掘削を開始しました。横坑とは人が入れる高さ2m弱のトンネルのことで、岩盤が固く断面が小さいことから機械による掘削ができず、火薬による発破作業により実施しました。



各ダム管理水位について

平成23年東北地方太平洋沖地震により、下流河川流域の地盤沈下や、河川施設の被災が発生し、水防警報の基準水位の見直しが行われたことから、洪水時における治水安全度を向上させるため、通常の常時満水位(制限水位)より1.0mまたは0.5m低い水位を設定し、治水容量の増大を図っています。平成23年5月から実施しており、樽水ダム、七北田ダム及びび惣の関ダムについて平成27年度も実施しました。南川ダム及び宮床ダムについては、今年度通常運用へ移行しました。

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

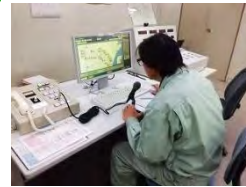
12月

1月

2月

3月

19日 洪水対応演習を実施



洪水期のダム管理に万全を期すため、洪水時の関係機関への通知や下流住民への放流警報など、対応方法と情報伝達の演習を行いました。

14日 川内沢ダム ダムサイト・ダム型式確定

地質調査や検討を行い、国及び専門機関との確認・調整を進め、7月14日にダムサイト・ダム型式が確定しました。



9日～11日 台風18号及び豪雨による洪水調節と被災状況

9日から11日にかけての、台風18号及び豪雨により、管理する6ダムにおいて洪水調節を実施しました。また、この豪雨により水観測所3箇所(市名坂・小角・郷六)並びに七北田ダムが被災しました。



樽水ダム



10, 18日 ダム定期検査

ダム検査規定に基づき、ダムの維持、操作その他の管理の状況について3年に1回検査を受けることとなっており、今年度は大倉ダム及び惣の関ダムについて定期検査を受検しました。



10日 仙台環境開発大倉ダム通信設備完成

既設設備の老朽化に伴い平成27年9月から実施していた更新工事が無事完成しました。情報表示板や監視装置の更新を行い、住民等への情報伝達機能向上を図りました。



各ダム見学会の実施

ダムの仕組みや役割を理解していただくため、当事務所で管理する6ダムで見学会を実施しました。今年度は仙台市内や周辺市町の小学校を中心に計41団体、1,847名がダム見学に訪れました。



大崎地方ダム総合事務所 「平成27年度復旧・復興カレンダー」

4日 化女沼ダム環境美化活動

スマイルサポーターの皆さんと、地域の幼稚園や子供達と一緒に『夢の桜』を植樹した。また、4月から11月までスマイルサポーターの皆さんと一緒に化女沼ダム湖畔周辺の除草やゴミ拾い等環境整備を行った。(今年度は、17回実施。)



4日 上大沢ダム直営除草作業

委託経費削減のため、上大沢ダム堤体の下流盛土平場(約5,000m²)を職員が、肩掛式草刈機を使用して直営除草作業を行った。



10, 11日 関東・東北豪雨及び台風第18号による大雨等による警戒配備

ニツ石ダムでは、管理開始以降初の洪水調節を実施。化女沼、上大沢及び岩堂沢ダムにおいては、過去最大流入量を記録した。(写真は、11日8時頃の化女沼ダム下流の田尻川です。)



10/28, 11/12 ダム定期検査

ダム検査規定において、ダムの維持、操作や管理状況について、3年に1度検査を受けることになっており、今年度は、上大沢及び岩堂沢ダムの定期検査を受検した。



19日 ダム洪水対応演習

梅雨、台風による洪水期を迎えるにあたり、ダム放流時の対応及び関係機関との情報伝達作業等について演習を行った。



6月16日, 7月14日, 10月20日 漆沢ダム 炭焼き活動 年3回

10月20日には、加美町立西小野田小学校4年生の児童及び教員も参加し、地元経験者指導のもと炭焼きを行った。



19日 第22回 水と森と風のくに祭り

漆沢ダム湖畔において、第22回水と森と風のくに祭りを開催した。今年度は、天気にも恵まれて多数の参加者(約330人)と祭りを盛大に行った。特にイワナのつかみ取りは、子供達に大好評であった。



4日 化女沼ダム不法投棄注意看板設置作業

ダム湖付近において、不法投棄が多いことから不法投棄撲滅のため、注意看板を6ヶ所に設置し啓蒙活動を実施した。



4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

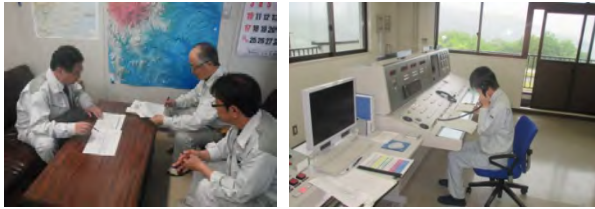
2月

3月

栗原地方ダム総合事務所 「平成27年度復旧・復興カレンダー」

19日 ダム管理演習を実施

梅雨、台風等による洪水期を迎えるにあたってダム放流時の危害防止の措置(関係機関への通知、放流警報等の一般住民への周知)及びダムの洪水調節を適確に行うための管理演習を3ダムにおいて実施しました。



5日 花山湖で清掃活動を実施

スマイルサポーターの花山漁業協同組合と花山青少年旅行村や栗原市花山総合支所の皆さんと当所職員が、今年で8回目の花山湖周辺の清掃活動を行いました。



11日 関東・東北豪雨による洪水調節 (花山・荒砥沢・小田ダム)

大雨特別警報発表
総雨量 233mm,
最大流入量 622m³/s
調節総量 10,185千m³
11/16 第2次災害査定
決定額 32,052千円
1/29 災害復旧工事完了
流木除去工 3,300m³



10日 花山ダムの見学

国立花山青少年自然の家主催の子供環境探検隊(小学生30名)が全国有数の貯水効率の高い花山ダムの仕組みを学ぶために訪れ、ダムの堤体上部を歩いて見学しました。



10日 荒砥沢ダムの見学

本年9月に認定を受けた「栗駒山麓ジオパーク」学習の一環で栗駒小学校4年生33名が荒砥沢ダムを訪れ、ダムの役割について学習し、堤体上部を歩いて見学しました。



4月

9日 ダム情報伝達連絡会を開催

異常気象時に情報を正確かつ迅速に伝達し、住民の安全、安心を守るため、河川・ダム管理者及び栗原市等の防災関係機関担当者による連絡会を開催し管内の4ダムから発信する情報の内容を説明しました。

5月

26日 小田ダム環境整備作業を実施

職員直営の除草作業が必要のため、肩掛け式草刈り機の使い方の講習を兼ねて、堤体下流広場の環境整備作業を行いました。

6月

7月



8月

22日 小田ダムの見学

NPO「働くお母さんと子供を支援する会」の一行44名が小田ダムの見学に訪れ、職員がダムの役割について紙芝居で説明しました。その後、監査廊に入り、ダムの内部を見学しました。

9月



10月

11日 花山・湖秋まつりに参加

花山ダム湖畔において「第28回花山・湖秋まつり」が開催されました。当事務所も会場の一角にブースを設け、ダムに関するパネルの展示、ビデオ上映、ダムカードの配布などで、ダムのPRをしました。

11月



12月

1月

2月

13日 ダム定期検査(荒砥沢ダム)

ダムの維持、操作等その他の管理状況について、各ダムの検査を3年に1回行うことになっています。今年度は荒砥沢ダムが定期検査を受検しました。

3月

